2010洗浄総合展

PAN-EXHIBITION FOR WASH AND CLEAN 2010

W 時代を洗う、地球を守る。

主催／社団法人 日本洗浄技能開発協会
日本産業洗浄協議会
日刊工業新聞社

結果報告書

会期　2010年10月13日(水)～15日(金)
10：00～17：00（最終日は16：30）

会場　東京ビッグサイト
東1～3ホール

2010 土壌・地下水環境展

2010 Exposition for Geo-Environmental Restoration

汚染を無くし
きれいな大地を未来に

主催／社団法人 土壌環境センター
日刊工業新聞社

すまい・建築・都市の環境展 第9回 ecobuild2010

For Realizing the Sustainable Building & Environment

UIA 2011東京大会 プレイベント

主催／エコビルド実行委員会
財団法人 建築環境・省エネルギー機構
日刊工業新聞社

産学官ビジネスフェア2010

―「シーズ」を活かし、「ニーズ」に応える!―

主催／日刊工業新聞社

第3回国際マグネシウム展

主催／茨城マグネシウム工業会

CONTENTS

ごあいさつ…… 1
2010 洗浄総合展 結果報告 …… 2
2010 土壌・地下水環境展 結果報告 …… 3
ecobuild 2010 結果報告 …… 4
産学官ビジネスフェア 2010 結果報告 …… 5
同時開催展…… 5
開会式、テープカット…… 6
開会レセプション…… 7
併催事業…… 8
2010 洗浄総合展 出展者一覧 …… 14
2010 土壌・地下水環境展 出展者一覧 …… 16
ecobuild 2010 出展者一覧 …… 17
産学官ビジネスフェア 2010 出展者一覧 … 18
第３回国際マグネシウム展 出展者一覧 …… 18
取材報道機関…… 19
会場案内図…… 20
2010 洗浄総合展 来場者アンケート …… 22
2010 土壌・地下水環境展 ecobuild 2010 来場者アンケート … 24
産学官ビジネスフェア 2010 来場者アンケート…… 26
入場登録者数ベスト 100 …… 28
主な広報・宣伝活動…… 29
広告・告知・記事…… 31
日刊工業新聞企画特集…… 34
掲載記事 日刊工業新聞 …… 39
出展企業・団体紙上プレビュー（日刊工業新聞）… 40
取材・報道記事…… 42
会場風景…… 44

関係各位

謹啓

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度は「2010洗浄総合展」、「2010土壌・地下水環境展」、「ecobuild 2010」、「産学官ビジネスフェア2010」の開催にあたりまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

お陰様を持ちまして10月13日（水）～15日（金）の3日間、無事盛況裡に終えることができました。

これもひとえに、出展者各位、ご後援・ご協賛を頂いた関係官庁ならびに産業諸団体、関係学会のご協力によるものと深く感謝致します。

展示会の模様につきましては、日刊工業新聞紙面上で逐次報道致しましたが、ここにその結果をまとめご報告致します。

今後とも関係各位の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

謹白

2010年11月

社団法人日本洗浄技能開発協会
日本産業洗浄協議会
社団法人土壌環境センター
エコビルド実行委員会
財団法人建築環境・省エネルギー機構
日刊工業新聞社

2010
洗浄総合展　結果報告

■名　　称：2010 洗浄総合展
PAN-EXHIBITION FOR WASH AND CLEAN 2010

■テ ー マ ：時代を洗う、地球を守る。

■主　　催：㈳日本洗浄技能開発協会／日本産業洗浄協議会／日刊工業新聞社

■後　　援：経済産業省／厚生労働省／環境省／東京都／㈱日本貿易振興機構（ジェトロ）

■開催期間：2010年（平成22年）10月13日（水）～10月15日（金）
10：00～17：00（最終日は16：30まで）

■会　　場：東京ビッグサイト（東京国際展示場）東１・２ホール

■入 場 料 ：無料　※但し、登録制

■協　　賛：㈳アルコール協会／ウレタン原料工業会／有限責任中間法人オゾン層・気候保護産業協議会／
㈶クリーン・ジャパン・センター／軽金属製品協会／㈳産業環境管理協会／㈳新金属協会／
石油連盟／㈳全国ビルメンテナンス協会／全国工作油剤工業組合／
㈶全国中小企業情報化促進センター／全国鍍金工業組合連合会／
㈶地球環境産業技術研究機構／超音波工業会／日本ウォータージェット学会／
日本ウォータージェット施工協会／㈳日本エアゾール協会／㈳日本下水道管路管理業協会／
日本ゴム工業会／㈳日本プラントメンテナンス協会／㈳日本ベアリング工業会／
㈳日本ボイラ協会／㈳日本印刷産業連合会／㈳日本下水道協会／㈳日本化学工業協会／
㈳日本化学工業品輸入協会／日本環境保全協会／㈳日本金属プレス工業協会／
日本金属熱処理工業会／日本酸化チタン工業会／㈳日本試薬協会／㈳日本自動車工業会／
㈳日本自動車部品工業会／日本真空協会／日本真空工業会／日本伸銅協会／日本製紙連合会／
日本繊維染色連合会／日本鋳鍛鋼会／㈳日本鉄鋼連盟／㈳日本電機工業会／
㈳日本電気計測器工業会／㈳日本電気制御機器工業会／㈳日本電線工業会／
㈳日本表面処理機材工業会／㈳日本防錆技術協会／日本溶剤リサイクル工業会　（50音順）

■開催規模：106社・団体　276小間

■来場者数：

10月13日（水）	☀時々☘	8,694名
10月14日（木）	☘のち☀	12,172名
10月15日（金）	☘のち☀	11,929名
合計		32,795名

2010
土壌・地下水環境展　結果報告

■名　　称：2010 土壌・地下水環境展
Exhibition for Geo-Environmental Restoration 2010

■テ ー マ ：汚染を無くし、きれいな大地を未来に

■主　　催：㈳土壌環境センター／日刊工業新聞社

■後　　援：環境省／経済産業省／国土交通省／農林水産省／東京都／㈱日本貿易振興機構（ジェトロ）

■開催期間：2010年（平成22年）10月13日（水）～10月15日（金）
10：00～17：00（最終日は16：30まで）

■会　　場：東京ビッグサイト（東京国際展示場）東２ホール

■入 場 料 ：無料　※但し、登録制

■協　　賛：㈶日本環境協会／㈳日本土壌肥料学会／㈳不動産協会／㈳資源・素材学会／㈳日本建築学会／日本科学機器団体連合会／㈳土木学会／㈳環境科学会／㈳日本農芸化学会／㈳日本薬学会／㈳日本水道協会／㈳日本化学会／㈳廃棄物資源循環学会／日本地下水学会／日本応用地質学会／㈳日本環境技術協会／㈳日本水環境学会／㈳日本不動産鑑定協会／日本環境化学会／㈳化学工学会／㈳地盤工学会／日本地質学会　（順不同）

■開催規模：70社・団体　155小間

■来場者数：

10月13日（水）	☀時々☁	6,397名
10月14日（木）	☁のち☀	7,421名
10月15日（金）	☁のち☀	8,163名
合計		21,981名

ecobuild 2010　結果報告

■名　　称：すまい・建築・都市の環境展
ecobuild 2010

■テ ー マ ：建築と都市の地球環境ソリューション

■主　　催：エコビルド実行委員会／㈶建築環境・省エネルギー機構／日刊工業新聞社

■後　　援：国土交通省／経済産業省／環境省／林野庁／東京都／㈱都市再生機構／㈱住宅金融支援機構／㈱建築研究所／㈳空気調和・衛生工学会／㈳都市住宅学会／㈳土木学会／㈳日本建築学会／㈳日本造園学会／㈳日本都市計画学会／㈳建築業協会／㈳日本建築家協会／㈳日本建築士会連合会／㈳日本建築士事務所協会連合会

■開催期間：2010年（平成22年）10月13日（水）～10月15日（金）
10：00～17：00（最終日は16：30まで）

■会　　場：東京ビッグサイト（東京国際展示場）東３ホール

■入 場 料 ：無料　※但し、登録制

■協　　賛：板硝子協会／硝子繊維協会／㈶建材試験センター／
㈶建築技術教育普及センター／建築・住宅国際機構／㈳住宅生産団体連合会／㈶住宅保証機構／
㈶住宅リフォーム・紛争処理支援センター／㈳新都市ハウジング協会／
㈳全国市街地再開発協会／㈳全国木材組合連合会／電気事業連合会／㈳日本ガス協会／
㈳日本建材・住宅設備産業協会／㈶日本建築センター／㈳日本住宅建設産業協会／
㈳日本ツーバイフォー建築協会／㈳日本鉄鋼連盟／㈳日本ビルヂング協会連合会／
㈳日本木造住宅産業協会／㈳不動産協会／㈳プレハブ建築協会／㈶ベターリビング／
㈳リビングアメニティ協会／ロックウール工業会／㈳ロングライフビル推進協会　　（50音順）

■開催規模：59社・団体　114小間

■来場者数：

10月13日（水）	☀時々☘	2,256名
10月14日（木）	☘のち☀	3,813名
10月15日（金）	☘のち☀	3,088名
合計		9,157名

産学官ビジネスフェア 2010　結果報告

■名　　称：産学官ビジネスフェア 2010

■テ ー マ ：「シーズ」を活かし、「ニーズ」に応える！

■主　　催：日刊工業新聞社

■後　　援：内閣府／総務省／文部科学省／経済産業省／農林水産省／一般社団法人コラボ産学官／
特定非営利活動法人産学連携学会　（順不同）

■開催期間：2010年（平成22年）10月13日（水）～10月15日（金）
10：00～17：00（最終日は16：30まで）

■会　　場：東京ビッグサイト（東京国際展示場）東３ホール

■入 場 料 ：無料　※但し、登録制

■開催規模：47社・団体　50小間【※特別企画「第３回国際マグネシウム展」含む】

■来場者数：

10月13日（水）	☀時々☘	2,311名
10月14日（木）	☘のち☀	1,987名
10月15日（金）	☘のち☀	2,464名
合計		6,762名

同時開催展

■名　　称：2010 韓国部品産業展（東１ホール）
■主　　催：大韓民国　知識経済部
■主　　管：KOTRA（大韓貿易投資振興公社）
■特別協力：日刊工業新聞社
グリーン産業デバイス、電気・電子部品、自動車部品、機械部品などの分野で競争力のある韓国の中小・中堅企業が120社参加した。

■名　　称：パテントソリューションフェア 2010（東３ホール）～技術展示 & 特許技術プレゼンテーション
■主　　催：特許庁／関東経済産業局／広域関東圏知的財産戦略本部
スマートコミュニティー、次世代自動車をはじめ、環境・エネルギー分野の課題解決・医療・介護・健康・子育てサービス分野等、産業構造ビジョンで定めた先端分野（ロボット・宇宙・航空機・レアメタル・ナノテク・高温超電導・機能性化学・高度IT・炭素繊維・バイオ医薬品）等につながる特許技術を持っている企業150社・団体が出展した。

開会式・テープカット

■日　時：2010年10月13日（水）9：30～10：00

■場　所：東京ビッグサイト　東２ホール前

■参加者：約70名

経済産業省　藤木課長

環境省　柴垣課長

厚生労働省　木口検定官

■来　賓：	経済産業省　製造産業局	産業機械課長	藤木　俊光　殿
	環境省　水・大気環境局	土壌環境課長	柴垣　泰介　殿
	厚生労働省　職業能力開発局	能力評価課　主任技能検定官	木口　昌子　殿

■主　催：	社団法人日本洗浄技能開発協会	副理事長	飯島　文男
	日本産業洗浄協議会	会長	赤木　裕
	社団法人土壌環境センター	会長	大野　眞里
	財団法人建築環境・省エネルギー機構	専務理事	川本　俊明
	日刊工業新聞社	取締役社長	千野　俊猛

開会レセプション

■日　時：2010年10月13日（水）17：30～19：00

■場　所：東京ビッグサイト展示棟３Ｆ　「ル・パルク有明」

■挨　拶：㈳日本洗浄技能開発協会　副理事長　飯島　文男
　　日本産業洗浄協議会　会長　赤木　裕
　　㈳土壌環境センター　専務理事　村川　昌道

■挨　拶・乾　杯：㈱スギノマシン　常務取締役　江下　邦昭　氏

㈳日本洗浄技能開発協会　飯島副理事長

日本産業洗浄協議会　赤木会長

㈳土壌環境センター　村川専務理事

㈱スギノマシン　江下常務取締役

会場風景

併催事業

2010洗浄総合展　特別講演〔聴講無料〕

■日　　時：10月14日（木）14：00～15：00
■会　　場：東京ビッグサイト　会議棟1Ｆ　レセプションホールＢ
■参 加 者：508名
■主　　催：㈳日本洗浄技能開発協会、日本産業洗浄協議会、日刊工業新聞社
「リチウムイオン二次電池と洗浄について」
■講　　師：旭化成㈱　新事業本部　吉野研究室
室長・旭化成フェロー　吉野　彰　氏

旭化成㈱　吉野氏

洗浄技術の新規市場開拓のため、リチウムイオン二次電池の市場と今後の発展、特に洗浄・濾過技術の重要性について語った。

第14回JICC洗浄技術フォーラム2010〔聴講料：会員6,000円、一般10,000円〕

■日　　時：10月14日（木）10：00～16：55
■会　　場：東京ビッグサイト　会議棟6Ｆ（605会議室）
■主　　催：日本産業洗浄協議会

産業洗浄の現状・問題点などを環境やVOC対策を踏まえ、発表した。

都産技研フォーラム　中小企業の成長分野を探る　－求められる“新”付加価値とは－

■日　　時：10月13日（水）13：00～16：00
■会　　場：東京ビッグサイト　会議棟6Ｆ（605・606会議室）
■主　　催：㈱東京都立産業技術研究センター
■後　　援：㈶東京都中小企業振興公社、東京商工会議所、東京都商工会連合会
■特別協力：日刊工業新聞社

中小企業が発展し続けるためには何が必要か、次世代型のポテンシャルは何かなどを紹介した。

イノベーション研究所　西岡氏

東京都立産業技術研究センター　片岡氏

「産業界に拡がるヒートポンプの活用について」～CO_2発生量削減問題への対応策～〔聴講無料〕

■日　　時：10月15日（金）13：30～14：30

■会　　場：東京ビッグサイト　会議棟6Ｆ（605会議室）

■後　　援：一般社団法人日本エレクトロヒートセンター

■特別協力：日刊工業新聞社

■講　　師：東京電力㈱　顧問　片倉　百樹　氏

産業界におけるヒートポンプの活用を実例を交え、環境負荷の低減効果やCO_2削減効果など環境に対する取り組みを紹介した。

東京電力㈱　片倉氏

洗浄総合展　ワークショップ〔聴講無料〕

■会　　場：東京ビッグサイト東２ホール内　特設会場

■ワークショップ　　会場：東京ビッグサイト 東2ホール内 特設会場

10月13日（水）

12:30～13:15　「キャビテーションの不思議な世界」
東北大学
大学院工学研究科 ナノメカニクス専攻 教授
祖山 均氏

10月14日（木）

11:30～12:15　「噴流式水質改善技術」
～諫早湾浄化から環境適応型排水処理システムまでの応用～
ワイビーエム
技術本部／取締役本部長　**増本 輝男**氏

10月14日（木）

12:30～13:15　「マイクロバブルの基礎と工学的応用」
産業技術総合研究所
環境管理技術研究部門 主任研究員　**高橋 正好**氏

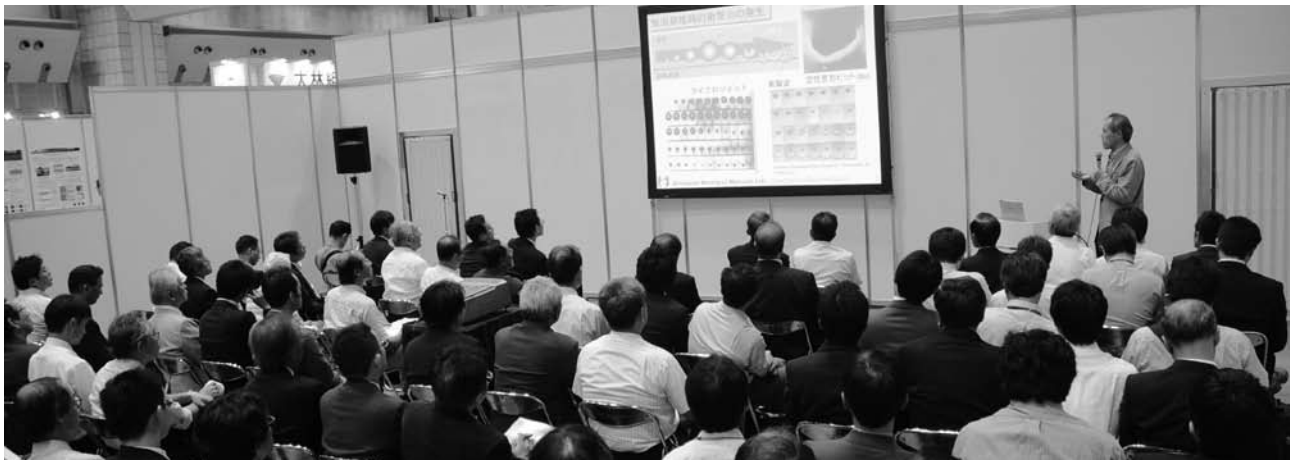
13:30～14:15　「VOC排出削減に向けた技術開発」
東京都立産業技術研究センター
地域結集事業推進部 部長　**伊瀬 洋昭**氏

14:30～15:15　「環境負荷低減を目指した排水処理技術」
東京都立産業技術研究センター
開発本部開発第二部 資源環境グループ グループ長
瓦田 研介氏

10月15日（金）

12:30～13:15　「超高圧機器の安全対策」
スギノマシン
高圧装置事業部 営業部長　**松原 均**氏

13:30～14:15　「熱風発生機とその応用最適化技術」
八光
営業本部 商品保証部 部長　**宮原 行雄**氏



洗浄総合展　特別企画

VOC対策ゾーン

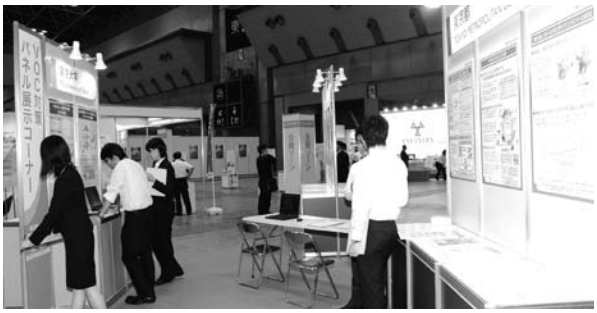
■主　　催：日本産業洗浄協議会、日刊工業新聞社

■特別協力：経済産業省、環境省、東京都、東京大学、㈱製品評価技術基盤機構

経済産業省、環境省、東京都、東京大学、㈱製品評価技術基盤機構によるVOC関連の施策及び対策法を展示。

出展企業一覧

- ●篠原電機【VOCガス検知器・放射線検知器】
- ●モリカワ【VOC回収装置REARTHシリーズ】



水利用の世界

■主　　催：㈳日本洗浄技能開発協会、日刊工業新聞社

■特別協力：日本ウォータージェット学会

環境に配慮した技術として「噴流による水質浄化」、「マイクロバブル」や高圧水の応用技術として「WJカッター」、「建設への適用例」など、実演を踏まえた展示を開催した。

2010 土壌・地下水環境展　特別講演〔聴講無料〕

「不動産市場における土壌汚染リスクとその評価」

～土壌汚染対策法の改正が不動産市場に与える影響を考える～

■日　　時：10月13日（水）15：30～16：30

■会　　場：「2010 土壌・地下水環境展」展示会場内特設会場

■参 加 者：約200名

■主　　催：㈳土壌環境センター、日刊工業新聞社

■講　　師：㈱日本不動産研究所　環境プロジェクト室長

平　倫明　氏

㈱日本不動産研究所　平氏

不動産市場の土壌汚染による、不動産の価値や影響を実例を交えて紹介した。

土壌・地下水環境展　ワークショップ【聴講無料】

■会　場：東京ビッグサイト　東２ホール内特設会場

■特別セミナー・ワークショップスケジュール　会場：東京ビッグサイト 東2ホール内 特設会場

10月13日（水）

14：00～15：00　特別セミナー①
「改正土壌汚染対策法の施行について」
環境省
水・大気環境局 土壌環境課長　柴垣 泰介氏

15：30～16：30　特別講演
「不動産市場における土壌汚染リスクとその評価」
日本不動産研究所
環境プロジェクト室長　平 倫明氏

10月14日（木）

12：45～13：45　「すっからかーん工法（SKK工法）による土壌・地下水汚染の浄化」
アサヒテクノ
東京営業所 所長　尾崎 哲二氏

10月14日（木）

14：00～15：00　特別セミナー②
「川崎市の土壌汚染対策の取組みについて」
川崎市
環境局環境対策部環境対策課 課長補佐
盛田 宗利氏

15：15～16：15　「油含有土壌のオンサイト浄化技術」
ハザマ
技術・環境本部 環境部
秦 浩司氏
山口 修一氏

10月15日（金）

11：30～12：30　「高機能吸着材と不溶化材による重金属汚染土壌のオンサイト措置」
アステック東京
地質環境部長　武島 俊達氏

12：45～13：45　「行政がかかえるVOC汚染に対するEDC浄化技術」
エコサイクル
環境修復事業部 営業部 マネージャー　松田 芳隆氏

14：00～15：00　特別セミナー③
「土壌汚染を原因とする土地取引の訴訟」
東京青山・青木・狛法律事務所
ベーカー＆マッケンジー外国法事務弁護士事務所 弁護士
太田 秀夫氏

土壌・地下水環境展　特別セミナー【聴講無料】

環境省　柴垣氏

■会　　場：「2010 土壌・地下水環境展」展示会場内特設会場

■日　　時：10月13日（水）　14：00～15：00
「改正土壌汚染対策法の施行について」

■講　　師：環境省　水・大気環境局　土壌環境課長　柴垣　泰介　氏

本年４月に施行された改正土壌汚染対策法に至った背景や土壌汚染の環境リスクについて解説した。

■日　　時：10月14日（木）14：00～15：00
「川崎市の土壌汚染対策の取組みについて」

■講　　師：川崎市　環境局環境対策部環境対策課　課長補佐　盛田　宗利　氏

川崎市の土壌汚染に対する取り組みを条例と土壌汚染対策法の指導内容を含めて紹介した。

■日　　時：10月15日（金）　14：00～15：00
「土壌汚染を原因とする土地取引の訴訟」

■講　　師：東京青山・青木・狛法律事務所　ベーカー＆マッケンジー外国法事務弁護士事務所
弁護士　太田　秀夫　氏

土壌汚染に関する訴訟を具体例を含め紹介した。

ecobuild　セミナー・ワークショップ【聴講無料】

■会　　場：東京ビッグサイト　東３ホール内特設会場

■セミナー・ワークショップスケジュール　会場：東京ビッグサイト 東3ホール内 特設会場

10月13日（水）

14：00〜16：45　**エコハウスDAY**
「環境省エコハウス　実践と完成後の展開」
日本建築家協会　環境行動ラボ　その他
■14：05〜16：20
エコハウス事業の概要
環境行動ラボ　井口 直巳氏
設計の立場から
山梨市　星野 正男氏
竣工から今
飯田市　八木 由美氏
エコハウスの展開から測定結果をふまえて
東京大学大学院 工学部 建築学科 准教授　前 真之氏
東京大学大学院 前研究室　菱田 哲也氏
■16：25〜16：45　パネルディスカッション
星野 正男氏、八木 由美氏、前 真之氏、菱田 哲也氏、
環境行動ラボ　井口 直巳氏、
寺尾 信子氏、柳澤 力 氏、林 昭男氏

10月14日（木）

11：30〜12：30　「改正省エネ法の概要について」
地域エネルギー・温暖化対策推進会議／
経済産業省 関東経済産業局／
環境省 関東地方環境事務所
関東経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課 係長
大和田 孝行氏
関東地方整備局　建政部　住宅整備課　課長
河合 麦氏

10月14日（木）

12：45〜16：50　**低炭素DAY**
「低炭素社会　2050年へ向けて」
日本建築家協会　環境行動委員会　その他
■12：50〜15：50　リレートークセッション
日本大学 生物資源科学部 教授　糸長 浩司氏
東京大学 工学部 建築学科 大野研究室　和田 夏子氏
日本建築家協会　環境行動ラボ　代表／
工学院大学　建築学科 教授　中村 勉氏
計画技術研究所 所長　須永 和久氏
■15：50〜16：50
若手研究者＋中村勉トークセッション
「これからの低炭素社会を語る」
中村 勉氏、須永 和久氏
（若手研究者）
日本大学　前野 真吾氏
東京大学　和田 夏子氏
東京工業大学　佐藤 理人氏
中村勉総合計画事務所　中村 美和子氏

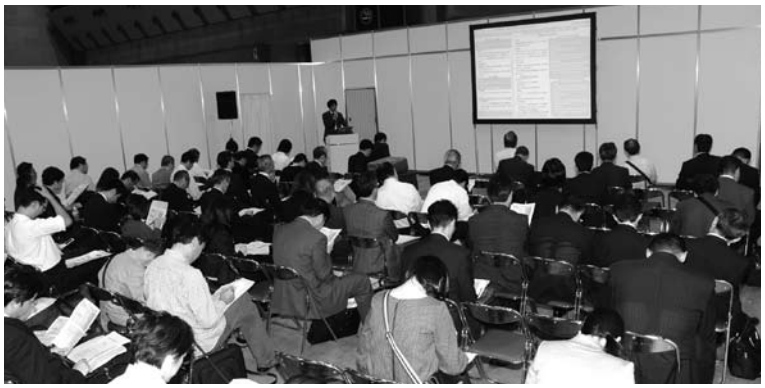
10月15日（金）

11：00〜12：00　「都市環境改善策としての緑化」
緑のまちづくり支援機構／都市緑化技術開発機構
緑のまちづくり支援機構 商品企画・開発委員長／
都市緑化技術開発機構 特殊緑化共同研究会 運営委員長
藤田　茂氏

12：15〜13：15　「常緑キリンソウを使った新しい緑化方法」
常緑キリンソウ普及協会
田中緑化研究所　代表取締役　田中 博氏

13：30〜16：15　「温暖化対策アクションプラン策定に向けて
−ストック対策の在り方−」
日本建築学会
■13：30〜13：50　主旨説明
工学院大学　中村 勉氏
■13：50〜15：30　主題解説
ライフサイクルマネジメントシステムの重要性
日建総研　林　立也氏
カーボンニュートラル化の実現方策
東北芸術工科大学　三浦 秀一氏
耐震エコ改修の提案
福岡大学　稲田 達夫氏
ストックにおける再生可能エネルギーの活用
日本設計　大野 二郎氏
長寿命化の重要性の観点から
ロングライフビル推進協会　今泉 晋氏
■15：30〜16：00　質疑応答
■16：00〜16：15　まとめ

資料代：2,000円



工学院大学　建築学科　教授　中村氏

ecobuild特別企画

■「小さなことから大きなことまで」

協力：㈳日本建築家協会　環境行動ラボ

・環境省エコハウスモデル事業ー全国20カ所のこころみ

・13の環境モデル都市ー２年間の取り組み

・スライド上映ーエコハウス、その他

■太陽熱ゾーン

太陽熱利用に関する製品・技術の展示ゾーン

〔出展者一覧〕

・ソーラーエネルギー利用推進フォーラム／天然ガス導入促進センター／ソーラーシステム振興協会／東京ガス／長府製作所／チリウヒーター／ノーリツ／パロマ／矢崎総業

■エコファクトリーソリューションゾーン

製造業向けの環境対策機器・システムの展示ゾーン

〔出展者一覧〕

・オムロン　・カーボンフリーコンサルティング

・かわさき新産業創造センター（KBIC）／IJR／イフェクト／デベロップメント・アジア・コンサルティング

・NIHON TURF & GREEN　・日経BP社

・北海道グリーンエナジーデータセンター推進フォーラム／グリーン冷房システム普及推進フォーラム

■ヒートアイランド対策ソリューションゾーン

ヒートアイランド対策となる緑化や遮熱などの環境保全技術・製品の展示ゾーン

〔出展者一覧〕

・アクトス／大光テクニカル　・エーアンドエー　・環境省　・越井木材工業

・常緑キリンソウ普及協会／緑化計画研究所／フジタパラダイスパーク／田中緑化研究所

・地中熱利用促進協会

■ソーラー建材ゾーン

〔出展者〕・菊川工業　・コンサーバルエンジニアリング　・翠光トップライン

■省エネビルゾーン

〔出展者〕・日本メックス　・ピーエス

産学官ビジネスフェア　ワークショップ【聴講無料】

■会　　場：東京ビッグサイト　東３ホール内特設会場

■ワークショップスケジュール　会場：東京ビッグサイト 東3ホール内 特設会場

10月13日（水）

11:00〜11:40
「内外のマグネシウム産業動向」
財団法人 日本マグネシウム協会専務理事
小原 久氏

13:00〜13:30
「災害診療支援システムと人命救助ロボット」
長岡技術科学大学 生物系 医用生体工学研究室
佐橋 拓氏

13:40〜14:20
「NEDO『マグネシウム鍛造技術開発プログラム』について」
大阪府立大学工学研究科 教授
東 健司氏

14:40〜15:20
「KUMADAIマグネシウム合金の研究開発動向」
熊本大学大学院 自然科学研究科 教授
河村 能人氏

15:40〜16:10
「市民の安全安心を考える理科大の新しい研究拠点 グリーン＆セーフティ研究センターは何を目指すか」
東京理科大学 総合研究機構 グリーン＆セーフティ研究センター センター長
理学部 応用化学科 教授
中井 泉氏

10月14日（木）

11:45〜12:15
「10倍高速、5倍高感度の放射線検出器」
独立行政法人放射線医学総合研究所
研究基盤技術部長
白川 芳幸氏

13:00〜13:30
「カオス・フラクタル感性情報融合工学」
長岡技術科学大学　カオス・フラクタル情報数理工学研究室 工学部　教授
中川 匡弘氏

13:40〜14:20
「長岡技術科学大学高性能マグネシウム研究センターにおける研究紹介」
長岡技術科学大学 機械係 教授
高性能マグネシウム工学研究センター長
鎌土 重晴氏

14:30〜15:00
「ペットボトルで放射線計測」
独立行政法人放射線医学総合研究所
基盤技術センター 研究員
中村 秀仁氏

15:10〜15:50
「台湾におけるマグネシウムの研究および超軽量Mg-Li合金と水素吸蔵合金でZK60の研究」
台湾国立東華大学 材料学科 教授
王 建義氏

10月15日（金）

11:00〜11:40
「冷間プレス成形に優れたマグネシウム合金」
京都大学大学院 資源エネルギーシステム学 教授
馬渕 守氏

13:00〜13:30
「ナノインプリント法によるセラミックス焼結体への複雑形状付与」
長岡技術科学大学　極限エネルギー密度工学研究センター 准教授
中山 忠親氏

13:40〜14:20
「石油文明からマグネシウム文明へ」
東京工業大学 機械物理工学専攻 教授
矢部 孝氏

14:30〜15:00
「地球にやさしい新技術開発への取組について」
埼玉県産業技術総合センター
企画・総務室　担当部長
細野 光広氏

2010
洗浄総合展　出展者一覧 【50音順】

出展者名	ブース No.
あ	
アクア化学	W-058
旭化成ケミカルズ	W-050
旭硝子	W-033
旭製作所	W-081
アマノ	W-024
アマノ機工	W-059
アルベマール日本	W-067
インフィニティ	W-088
エア・ウォーター	W-047
エー・エス・ケー	W-069
エスエヌディ	W-006
エス・ケイ・ワイ	W-080
大川興産	W-093
大日商事	W-093
か	
カイジョー	W-026
化学工業日報社	W-035
化研テック	W-014
片倉工業	W-021
カムテック	W-034
川商エレクトロニクス	W-084
カワタ	W-052
環境テクノス	W-045
管製作所	W-057
北村製作所	W-023
キャッツ・アームズ・サービス	W-003
共栄産業	W-030
クリンビー	W-060
川商エレクトロニクス	W-060
扇谷	W-060
新和産業	W-060
河新	W-060
ケルヒャージャパン	W-039
さ	
サクラ精機	W-004
三共商会	W-007
ラコス	W-007
産業タイムズ社	W-015
三共理化学	W-073
三和油化工業	W-083
JX 日鉱日石エネルギー	W-019
篠原電機	W-079
シブヤマシナリー	W-012
ジャパン・フィールド	W-062
スギノマシン	W-053
スプレーイングシステムスジャパン	W-031
住友スリーエム	W-046
セーレン電子	W-065
全国ビルメンテナンス協会	W-022
セントラルフィルター工業	W-042
創生ワールド	W-086
ソルベックス	W-036
ニックス	W-036
た	
大浩研熱	W-089
タイセイクリンケミカル	W-043
大和化学工業	W-032
田邊空気機械製作所	W-002
超音波工業	W-009
超音波工業会	W-010
千代田交易	W-005
電子実装 .com	W-094
東京精溜工業	W-082
東京都立産業技術研究センター	W-063
東製	W-001
東静電気	W-020
東ソー	W-061
東洋ユニオン	W-090
な	
ニクニ	W-037
日刊工業広告社	W-056
日刊工業新聞社	W-085
日刊工業新聞社／中小企業基盤整備機構	W-029
日伸精機	W-054
日本ソルベイ	W-027
日本アレックス	W-044
日本エマソン／ブランソン事業本部	W-011

出展者名	ブース No.
日本エレクトロヒートセンター	W-025
日本原料	W-064
日本産業洗浄協議会	W-087
日本洗浄技能開発協会	W-091
日本溶剤リサイクル工業会	W-071
日本リファイン	W-072
ニレコ	W-018
野村マイクロ・サイエンス	W-078
は	
パイオニア風力機	W-028
サン・エンジニアリング	W-028
八光	W-016
BASF ジャパン	W-055
第一工業製薬	W-055
日立国際電気エンジニアリング	W-013
平出精密	W-040
ファインマシーンカタオカ	W-051
ベリタス	W-070
本多電子	W-075
ま	
増田製作所／マスロールシステムズ	W-049
三井・デュポン フロロケミカル	W-038
未來超音波技術	W-066
武蔵テクノケミカル	W-017
モリカワ	W-077
森合精機	W-048
や	
横浜油脂工業	W-008
ら	
レイボルド	W-068
Borer Chemie AG	W-068
US メック	W-068
ミーレ・ジャパン	W-068

2010
土壌・地下水環境展　出展者一覧 【50音順】

出展者名	ブース No.
あ	
アイ・エス・ソリューション	G-026
アサヒテクノ	G-017
ADEKA 総合設備	G-047
エコサイクル	G-024
三菱商事	G-024
エス・ティ・ジャパン	G-002
大林組	G-036
奥村組	G-029
か	
鹿島建設	G-007
ケミカルグラウト	G-007
鹿島道路	G-007
イー・アール・エス	G-007
大興物産	G-007
ガステック	G-011
加地貿易	G-023
環境工研	G-028
松尾機器産業	G-028
環境システム	G-030
環境新聞社	G-045
環境テクノ	G-005
オルガノ	G-005
共立理化学研究所	G-041
鴻池組	G-034
さ	
サンエープロテント	G-021
産業技術総合研究所	G-046
三友プラントサービス	G-019
シーリングソイル協会	G-004
JFE ミネラル	G-016
地盤環境エンジニアリング	G-003
清水建設	G-032
新日鉄エンジニアリング	G-020
不動テトラ	G-020
日鉄環境エンジニアリング	G-020
住化分析センター	G-012
エンバイロ・ソリューション	G-012
ゼオライト	G-039

出展者名	ブース No.
た	
大起理化工業	G-038
大成建設	G-033
竹中工務店／竹中土木	G-037
テクノエックス	G-009
大成基礎設計	G-009
DOWA エコシステム	G-006
イー・アンド・イーソリューションズ	G-006
エコ システム エンジニアリング	G-006
土壌環境センター	G-040
な	
日本電工	G-008
日本工業出版	G-044
日本地下水開発	G-025
日本電子	G-031
は	
ハザマ	G-014
パナソニック環境エンジニアリング	G-001
日立プラントテクノロジー	G-013
ビル経営研究所	G-046
ま	
マックテクニカルシステムズ	G-022
三井金属資源開発	G-035
三菱マテリアルテクノ	G-010
三菱マテリアル	G-010
ピーエス三菱	G-010
東京鋪装工業	G-010
菱光産業	G-010
ダイヤコンサルタント	G-010
みつわポンプ製作所	G-043
や	
ユニバース開発	G-042
ら	
ライト工業	G-015
ランドコンシェルジュ	G-027
リフレックス	G-018

ecobuild 2010　出展者一覧 【50 音順】

出展者名	ブース No.
あ	
アクトス	E-028
大光テクニカル	E-028
エーアンドエー	E-026
オムロン	E-007
恩田組	E-002
民家再構	E-002
か	
カーボンフリーコンサルティング	E-035
かわさき新産業創造センター	E-003
IJR	E-003
デベロップメント・アジア・コンサルティング	E-003
イフェクト	E-003
環境省	E-024
菊川工業	E-021
GROOVE	E-008
慶應義塾大学大学院　空間・環境デザイン工学専修	E-018
建築研究所	E-020
越井木材工業	E-023
コンサーバルエンジニアリング	E-031
さ	
常緑キリンソウ普及協会	E-022
緑化計画研究所	E-022
フジタパラダイスパーク	E-022
田中緑化研究所	E-022
シルベック	E-012
サンライティングシステムズ	E-012
翠光トップライン	E-032
ソーラーエネルギー利用推進フォーラム	E-025
天然ガス導入促進センター	E-025
ソーラーシステム振興協会	E-025
東京ガス	E-025
長府製作所	E-025
チリウヒーター	E-025
ノーリツ	E-025
パロマ	E-025
矢崎総業	E-025

出展者名	ブース No.
た	
地域エネルギー・温暖化対策推進会議	E-006
関東経済産業局	E-006
関東地方環境事務所	E-006
地中熱利用促進協会	E-027
東京工業大学　応用セラミックス研究所	E-019
都市緑化技術開発機構	E-011
な	
日刊工業新聞　PR コーナー	E-037
日経 BP 社	E-004
日印国際産業振興協会	E-039
NIHON.TURF & GREEN	E-034
日本デコラックス	E-009
日本ビジネス出版	E-036
日本メックス	E-014
は	
ピーエス	E-015
フォーラムエイト	E-016
藤井製作所	E-013
北海道グリーンエナジーデータセンター推進フォーラム	E-033
グリーン冷房システム普及推進フォーラム	E-033
ま	
緑のまちづくり支援機構	E-017
UIA2011　東京大会	E-001
ら	
ランドスケープコンサルタンツ協会	E-030
ロボットビジネス推進協議会	E-038
ロングライフビル推進協会（BELCA）	E-010

産学官ビジネスフェア2010 出展者一覧 【50音順】

出展者名	ブース No.
あ	
愛知工業大学	SGK-08
阿南工業高等専門学校	SGK-01
さ	
サービスロボット技術交流事業実行委員会	SGK-10
神奈川県	SGK-10
日本ロボット工業会	SGK-10
東芝	SGK-10
日刊工業新聞社	SGK-10
埼玉県産業技術総合センター	SGK-04
た	
第４回 ロボット大賞	SGK-11
東京理科大学科学技術交流センター（TLO）	SGK-09
な	
長岡技術科学大学 カオス・フラクタル情報数理工学研究室	SGK-05
長岡技術科学大学　極限エネルギー密度工学研究センター	SGK-06
長岡技術科学大学　生物系　医用生体工学研究室	SGK-07
日刊工業広告社	SGK-03
は	
放射線医学総合研究所	SGK-02
応用光研工業	SGK-02

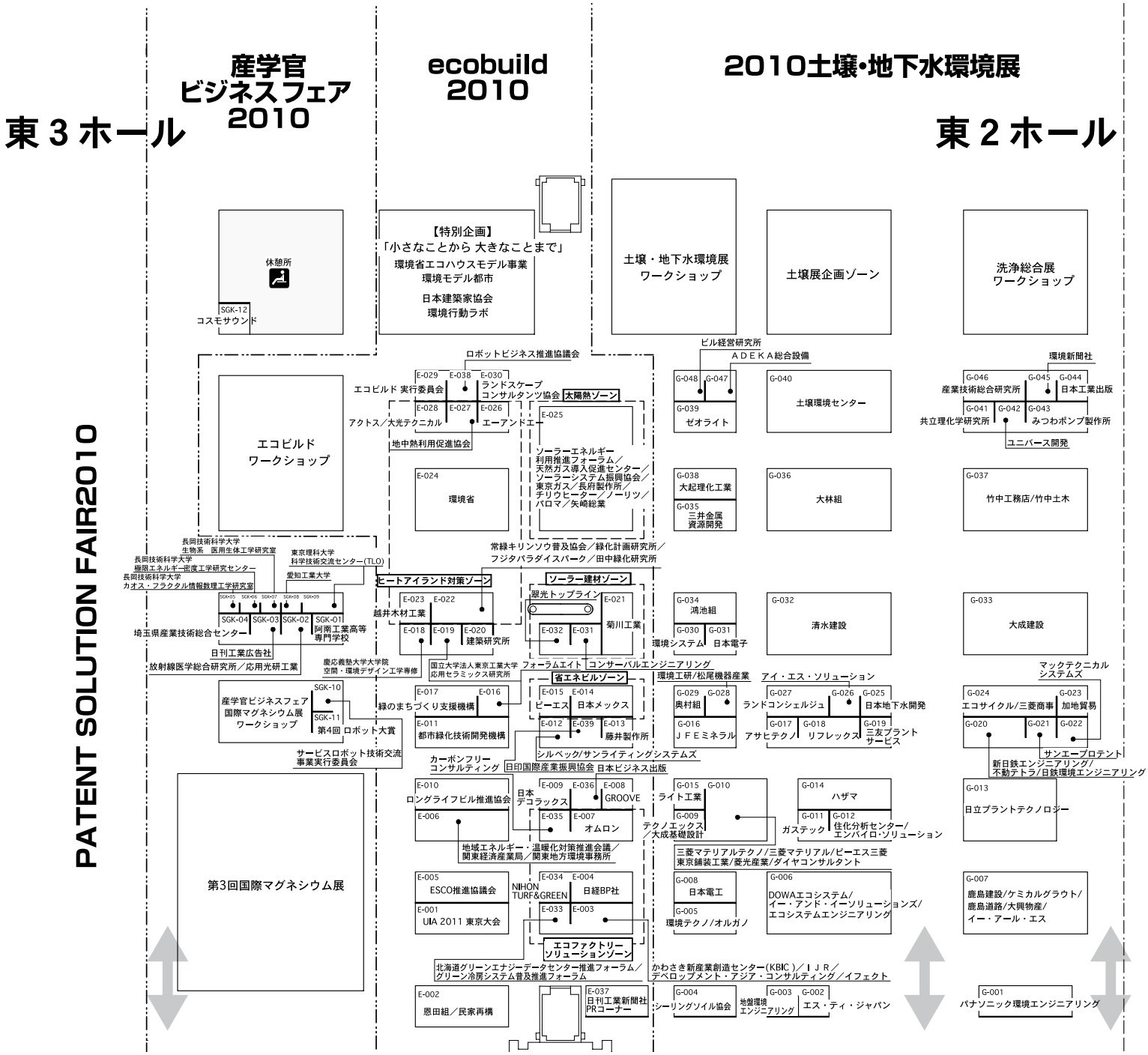
第３回国際マグネシウム展 出展者一覧 【50音順】

出展者名	ブース No.
あ	
アート・プロエンジニアリング	Mg-11
礒野製作所	Mg-10
伊田興産	Mg-23
茨城県工業技術センター	Mg-18
茨城日立情報サービス	Mg-03
茨城マグネシウム工業会事務局	Mg-17
岩倉溶接工業所	Mg-04
エヌシーネットワーク	Mg-06
榎本機工	Mg-22
か	
くまもとテクノ産業財団	Mg-13
不二ライトメタル	Mg-13
ネクサス	Mg-13
ゴーシュー	Mg-05
権田金属工業	Mg-27
さ	
サンキャスト	Mg-01
三協マテリアル	Mg-26
伸栄工業	Mg-16
た	
ダイイチ・ファブ・テック	Mg-15
太洋工業	Mg-14
チカラ工業	Mg-08
東京マグネシウム	Mg-28
トピー工業	Mg-19
な	
日本金属	Mg-29
日本マグネシウム協会	Mg-07
は	
ハシバモールド	Mg-02
フジ精工	Mg-30
ポスコ	Mg-25
ま	
前島工業所	Mg-09
宮本製作所	Mg-12
や	
ヤハタ	Mg-21
山野井精機	Mg-24
ら	
リガク	Mg-20

取材報道機関

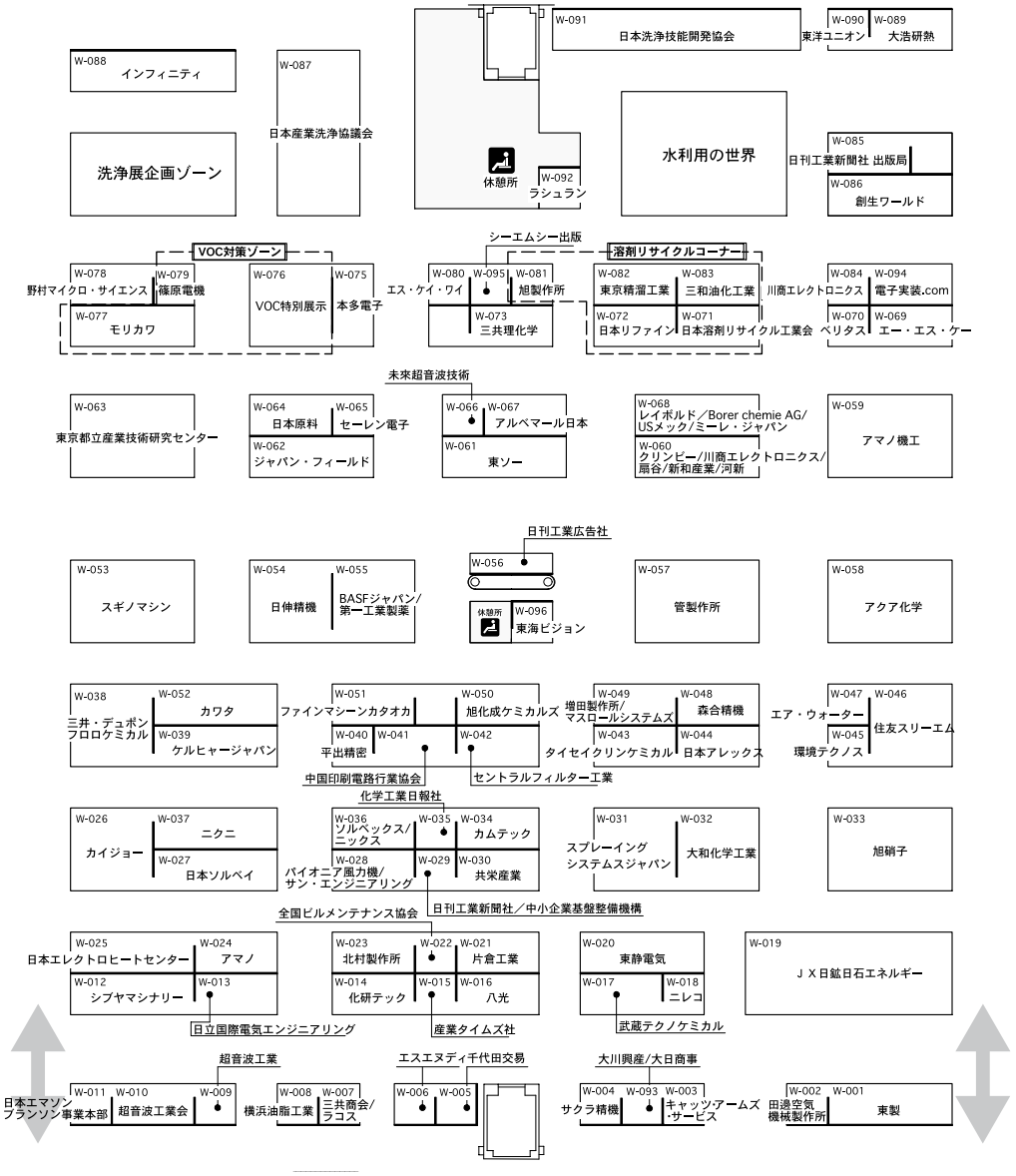
IP・L Communications Inc.	工文社	塗料出版社
KSC・ジャパン	ゴムタイムス社	塗料報知新聞社
MICEジャパン	産業新聞開発	日刊建設工業新聞社
NHK　首都圏放送センター	産業新聞社	日刊自動車新聞社
PENTA通信社	産業とエネルギー社	日経BP社
Society of Manufacturing Engineers	産報出版	日報アイ・ビー
UBMメディア	システムハウス・パウデッド	日本経済新聞社
アルム出版社	時報社	日本下水道協会
イード	下野新聞社	日本工業経済新聞社
イスイックス・ワールド	ジャンコーポレーション	日本工業出版
インターネットジャーナル	住宅環境社	日本住宅新聞社
インダストリー・ジャパン	潤滑通信社	日本畜産振興会
エンジニアリングニュース社	商工経済新聞社	日本発明振興協会
エンドレス・アドセンター	新樹社	ニュースニッポン社
オーム社	新農林社	燃料油脂新聞社
化学工業日報社	水産タイムズ社	パワービジョン
加工技術研究会	スイット	ピーオーピー
ガスエネルギー新聞	政策総合研究所	ビジネスガイド社
家庭通信社	ゼロクリエイト	ビッグライフ社
ガラス新聞社	全国共同出版	表面技術ジャーナル社
環境エネルギー産業情報	全国ドライ新聞社	ファスニングジャーナル
環境新聞社	洗剤新報社	フォームタイムス
技術調査会	素形材通信社	ボイックス
金属産業新聞社	ソシオコーポレーション	マージャーマーケット
空調タイムス社	タイルの本編集室	マルモ出版
クリエイティブ・ケイ	地球丸	メカニカル・テック社
クリエイト日報	中小企業基盤整備機構	油脂特報社
建設産業新聞社	テツアドー出版	読売新聞
建通新聞社	テレビ東京	レーザー・コンシェルジェ
工業技術新聞社	電波タイムス社	ロケットスタート
工業新報社	東京グラフィックサービス工業会	（50音順）

会場案内図


産学官
ビジネスフェア
2010
ecobuild
2010
2010土壌・地下水環境展
東３ホール
東２ホール
PATENT SOLUTION FAIR2010
休憩所
SGK-12
コスモサウンド
【特別企画】
「小さなことから 大きなことまで」
環境省エコハウスモデル事業
環境モデル都市
日本建築家協会
環境行動ラボ
土壌・地下水環境展
ワークショップ
土壌展企画ゾーン
洗浄総合展
ワークショップ
ロボットビジネス推進協議会
ビル経営研究所
ＡＤＥＫＡ総合設備
環境新聞社
エコビルド
ワークショップ
E-029
E-038
E-030
エコビルド 実行委員会
ランドスケープ
コンサルタンツ協会
太陽熱ゾーン
E-028
E-027
E-026
アクトス／大光テクニカル
エーアンドエー
地中熱利用促進協会
E-025
ソーラーエネルギー
利用推進フォーラム／
天然ガス導入促進センター／
ソーラーシステム振興協会／
東京ガス／長府製作所／
チリウヒーター／ノーリツ／
バロマ／矢崎総業
E-024
環境省
G-048
G-047
G-039
ゼオライト
G-040
土壌環境センター
G-046
G-045
G-044
産業技術総合研究所
日本工業出版
G-041
G-042
G-043
共立理化学研究所
みつわポンプ製作所
ユニバース開発
G-038
大起理化工業
G-035
三井金属
資源開発
G-036
大林組
G-037
竹中工務店/竹中土木
常緑キリンソウ普及協会／緑化計画研究所／
フジタパラダイスパーク／田中緑化研究所
長岡技術科学大学
生物系　医用生体工学研究室
長岡技術科学大学
環境エネルギー密度工学研究センター
長岡技術科学大学
カオス・フラクタル情報数理工学研究室
東京理科大学
科学技術交流センター(TLO)
愛知工業大学
ヒートアイランド対策ゾーン
ソーラー建材ゾーン
SGK-05
SGK-06
SGK-07
SGK-08
SGK-09
SGK-04
SGK-03
SGK-02
SGK-01
埼玉県産業技術総合センター
阿南工業高等
専門学校
日刊工業広告社
放射線医学総合研究所／応用光研工業
E-023
E-022
越井木材工業
E-018
E-019
E-020
建築研究所
翠光トップライン
E-021
菊川工業
E-032
E-031
G-034
鴻池組
G-030
G-031
環境システム
日本電子
G-032
清水建設
G-033
大成建設
慶応義塾大学大学院
空間・環境デザイン工学専修
国立大学法人東京工業大学
応用セラミックス研究所
フォーラムエイト
コンサーバルエンジニアリング
環境工研/松尾機器産業
アイ・エス・ソリューション
マックテクニカル
システムズ
SGK-10
SGK-11
産学官ビジネスフェア
国際マグネシウム展
ワークショップ
第4回 ロボット大賞
E-017
E-016
緑のまちづくり支援機構
E-011
都市緑化技術開発機構
省エネビルゾーン
E-015
E-014
ビーエス
日本メックス
E-012
E-039
E-013
藤井製作所
G-029
G-028
奥村組
G-016
ＪＦＥミネラル
G-027
G-026
G-025
ランドコンシェルジュ
日本地下水開発
G-017
G-018
G-019
アサヒテクノ
リフレックス
三友プラント
サービス
G-024
G-023
エコサイクル/三菱商事
加地貿易
G-020
G-021
G-022
サンエープロテント
新日鉄エンジニアリング/
不動テトラ/日鉄環境エンジニアリング
サービスロボット技術交流
事業実行委員会
カーボンフリー
コンサルティング
日印国際産業振興協会
日本ビジネス出版
シルベック/サンライティングシステムズ
E-010
ロングライフビル推進協会
E-006
日本
デコラックス
E-009
E-036
E-008
GROOVE
E-035
E-007
オムロン
G-015
G-010
ライト工業
G-009
テクノエックス
／大成基礎設計
G-014
ハザマ
G-011
G-012
ガステック
住化分析センター/
エンバイロ・ソリューション
G-013
日立プラントテクノロジー
地域エネルギー・温暖化対策推進会議／
関東経済産業局／関東地方環境事務所
三菱マテリアルテクノ/三菱マテリアル/ピーエス三菱
東京鋪装工業/菱光産業/ダイヤコンサルタント
第3回国際マグネシウム展
E-005
ESCO推進協議会
E-001
UIA 2011 東京大会
NIHON
TURF&GREEN
E-034
E-004
日経BP社
E-033
E-003
G-008
日本電工
G-005
環境テクノ/オルガノ
G-006
DOWAエコシステム/
イー・アンド・イーソリューションズ/
エコシステムエンジニアリング
G-007
鹿島建設/ケミカルグラウト/
鹿島道路/大興物産/
イー・アール・エス
エコファクトリー
ソリューションゾーン
北海道グリーンエナジーデータセンター推進フォーラム／
グリーン冷房システム普及推進フォーラム
かわさき新産業創造センター(KBIC)／ＩＪＲ／
デベロップメント・アジア・コンサルティング／イフェクト
E-002
恩田組／民家再構
E-037
日刊工業新聞社
PRコーナー
G-004
シーリングソイル協会
地盤環境
エンジニアリング
G-003
G-002
エス・ティ・ジャパン
G-001
パナソニック環境エンジニアリング

2010洗浄総合展

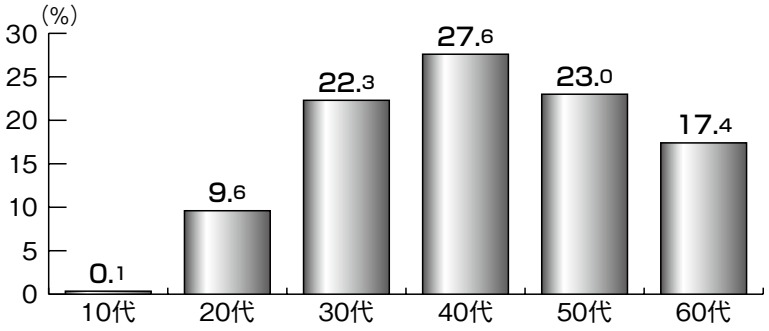
東１ホール



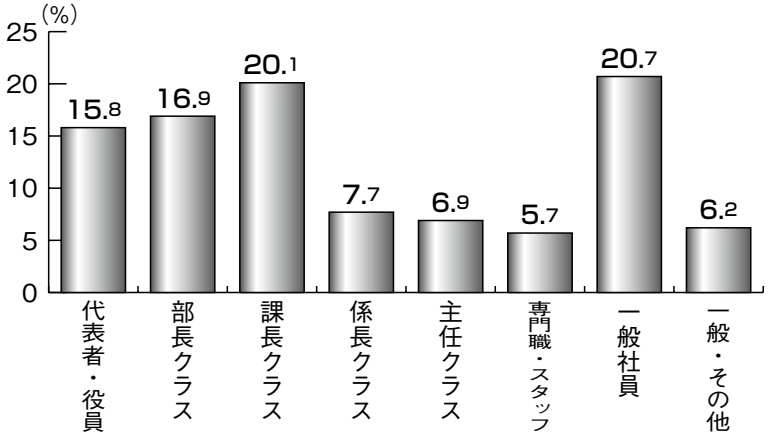
2010韓国部品産業展

2010
洗浄総合展　来場者アンケート

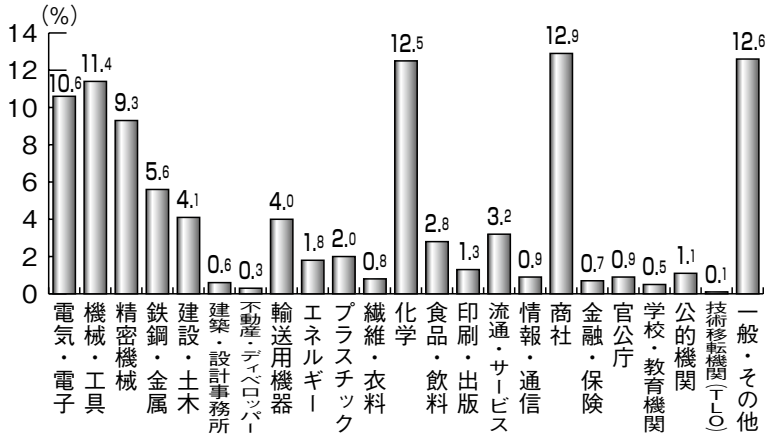
Q1 あなたの年齢は？



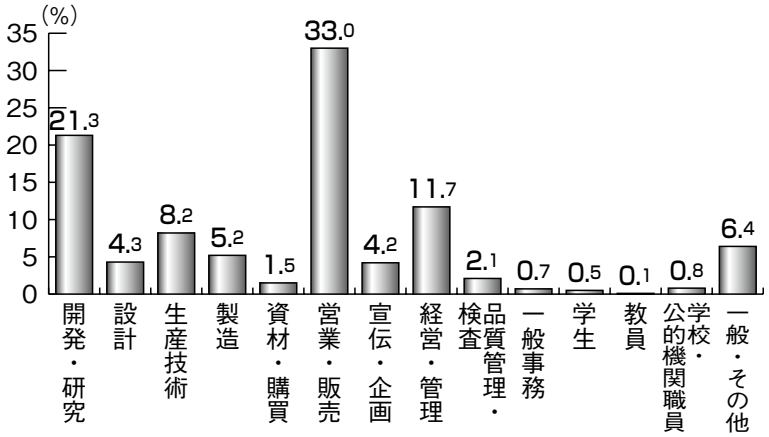
Q2 あなたの役職は？



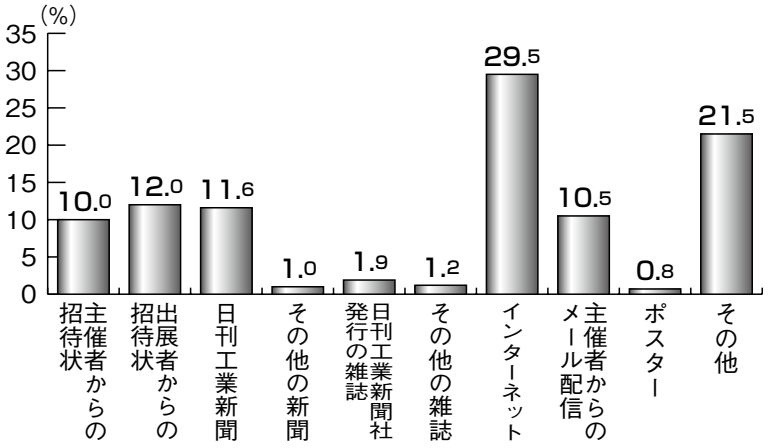
Q3 あなたの業種は？



Q4 あなたの職種は？



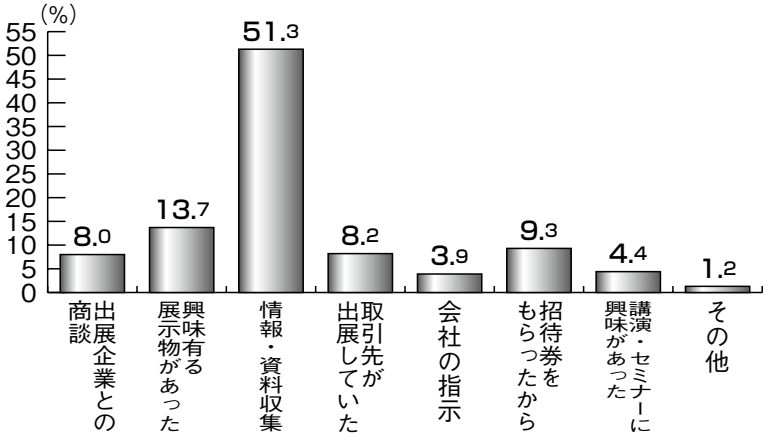
Q5 本展示会を何で知りましたか？
（複数回答）



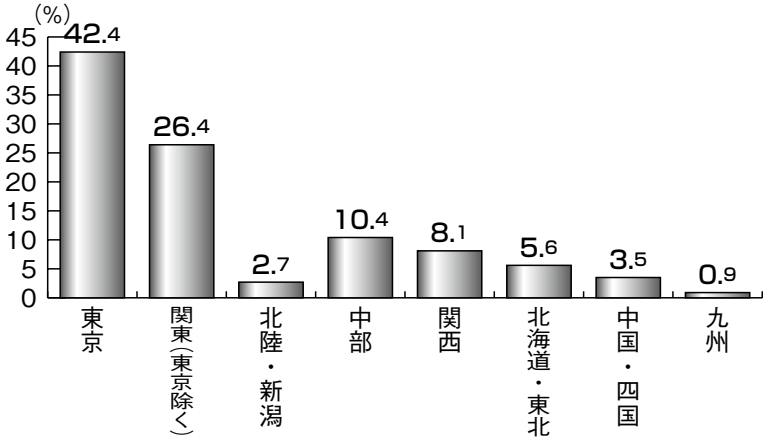
●来場者個別アンケート結果（600件）

※会場出入口で実施

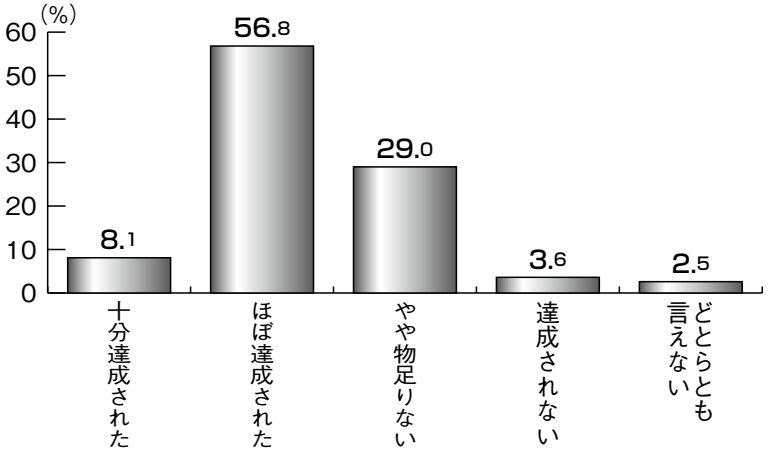
Q6 ご来場の目的は？
（洗浄・土壌・ecobuild共通）



Q7 どちらから来ましたか？
（洗浄・土壌・ecobuild共通）

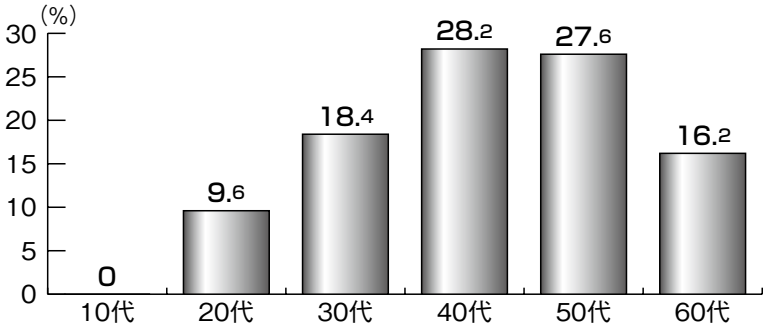


Q8 ご来場の目的は達成できましたか？
（洗浄・土壌・ecobuild共通）

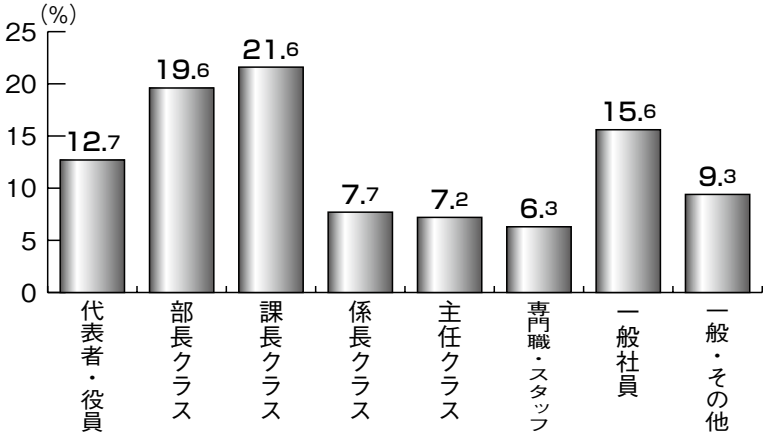


2010 土壌・地下水環境展
エコビルド 2010　来場者アンケート

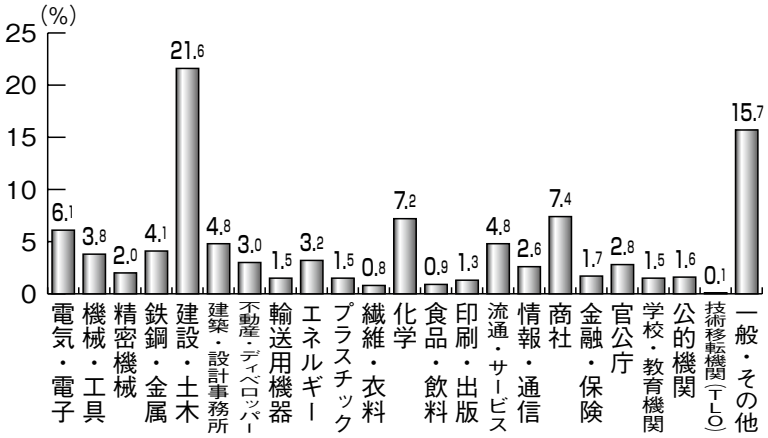
Q1 あなたの年齢は？



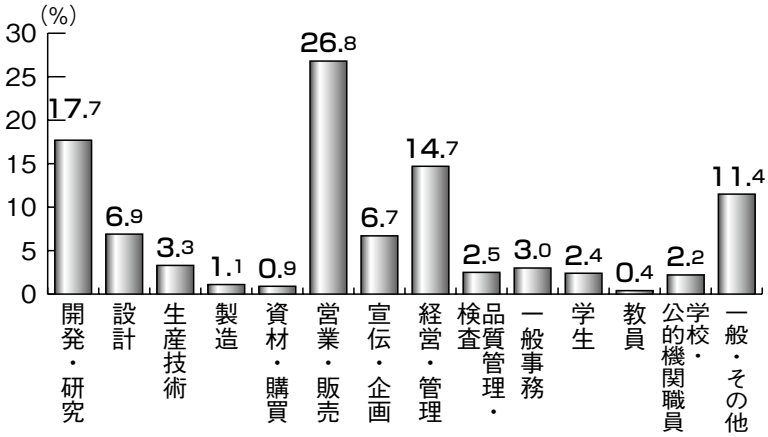
Q2 あなたの役職は？



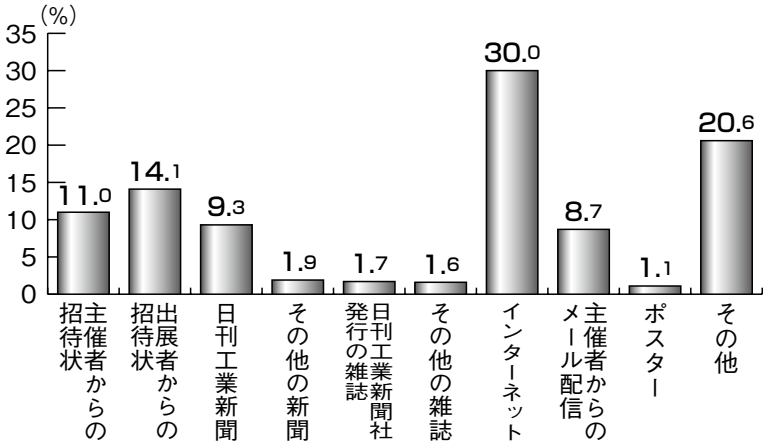
Q3 あなたの業種は？



Q4 あなたの職種は？



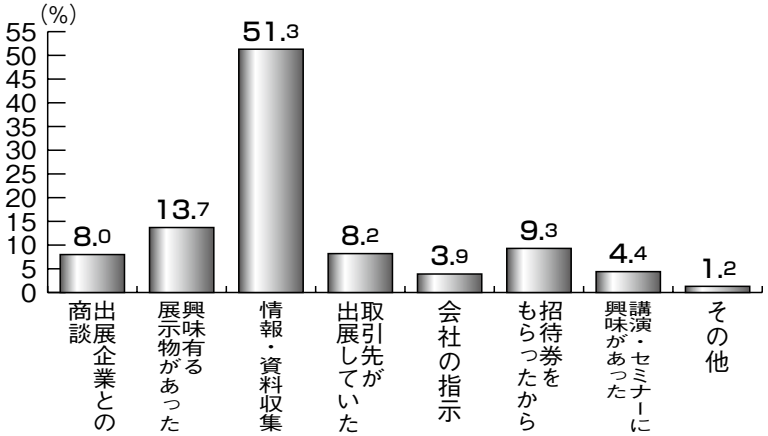
Q5 本展示会を何で知りましたか？
（複数回答）



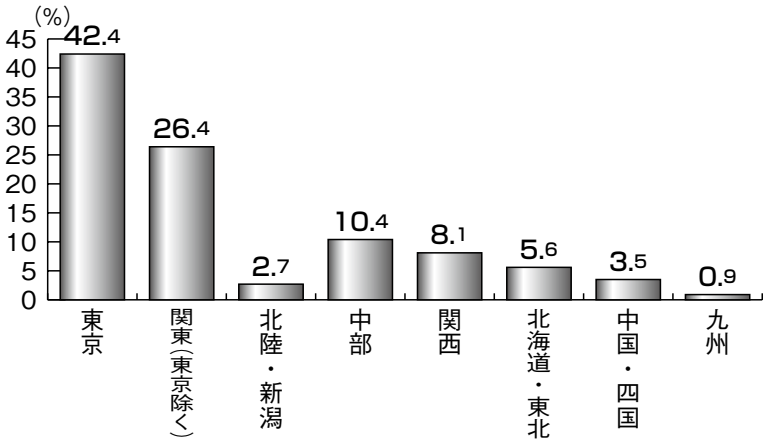
●来場者個別アンケート結果（600件）

※会場出入口で実施

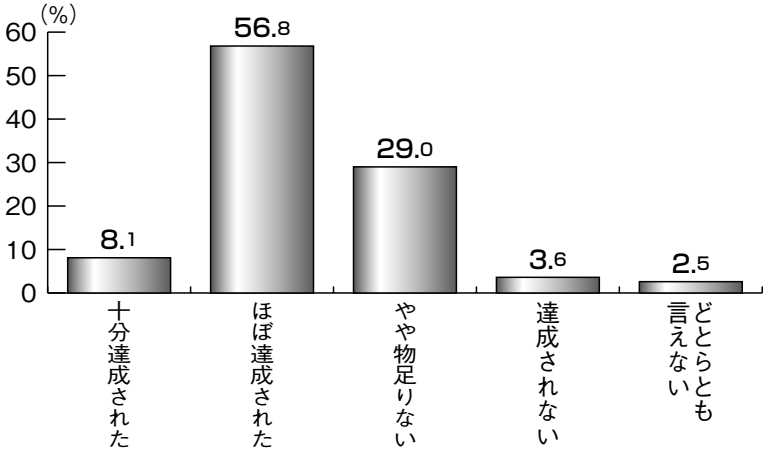
Q6 ご来場の目的は？
（洗浄・土壌・ecobuild共通）



Q7 どちらから来ましたか？
（洗浄・土壌・ecobuild共通）

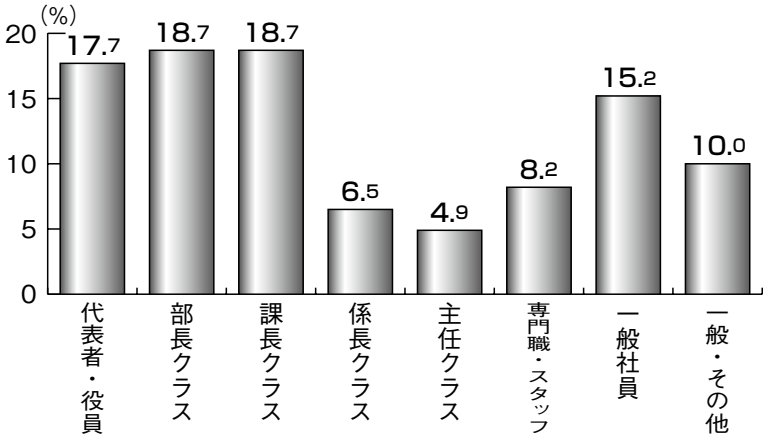


Q8 ご来場の目的は達成できましたか？
（洗浄・土壌・ecobuild共通）

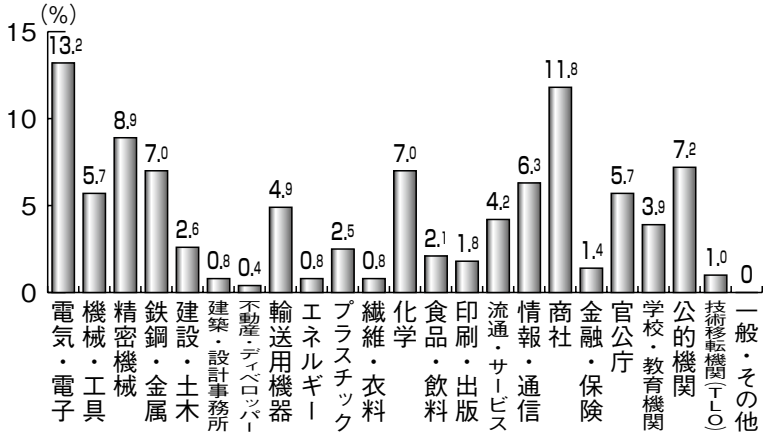


産学官ビジネスフェア 2010
来場者アンケート

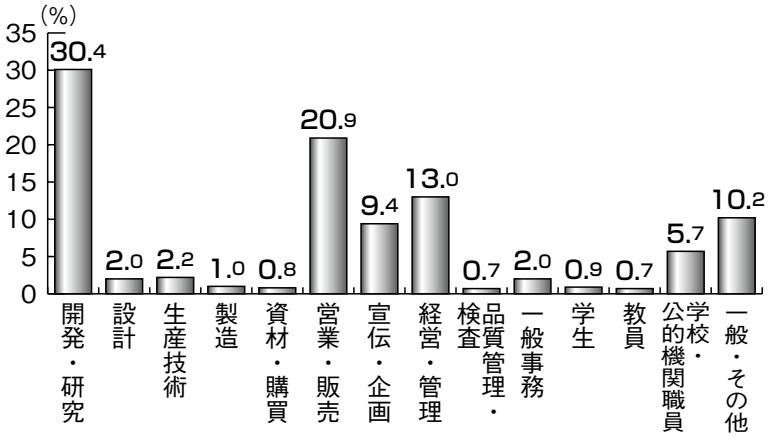
Q1 あなたの役職は？



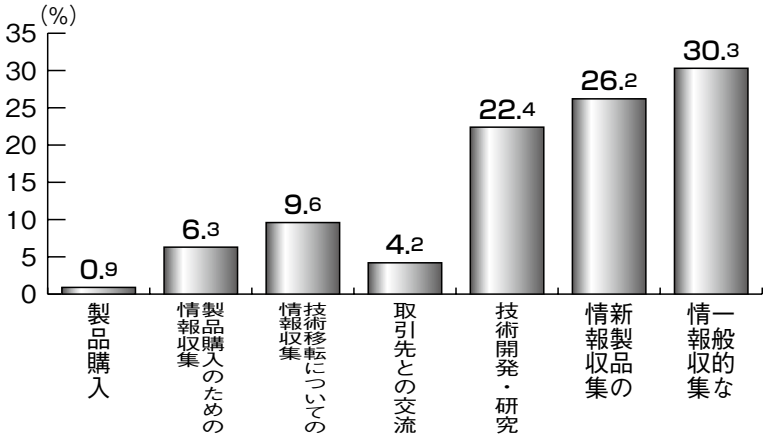
Q2 あなたの業種は？



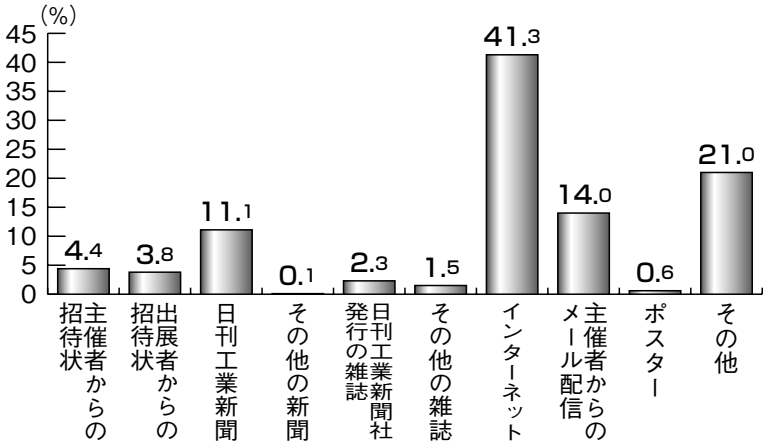
Q3 あなたの職種は？



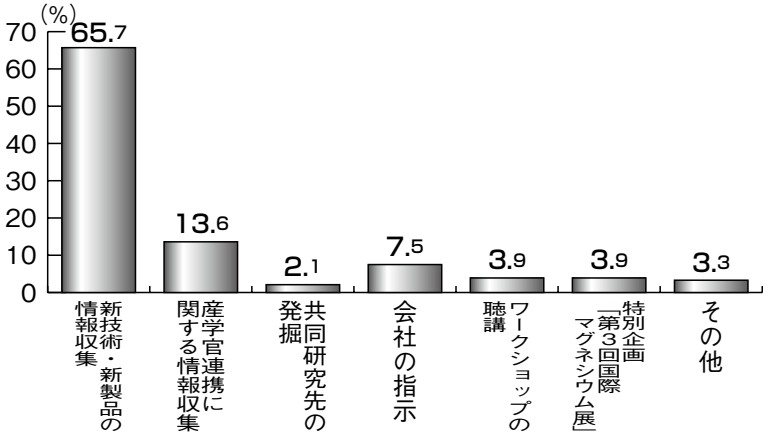
Q4 ご来場の目的は何ですか？



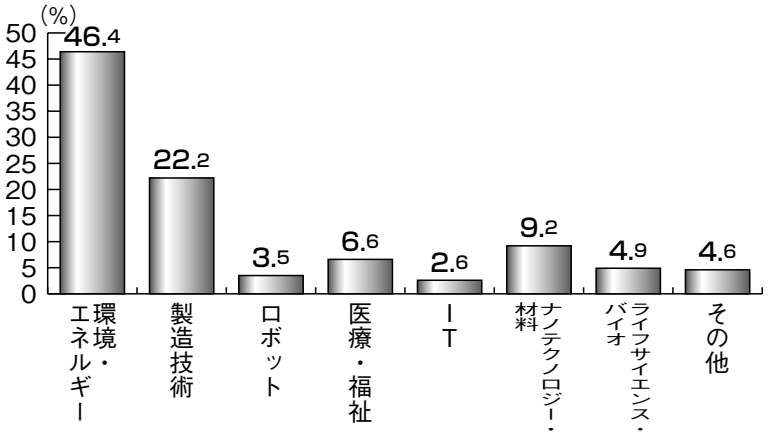
Q5 本フェアを何で知りましたか？
（複数回答）



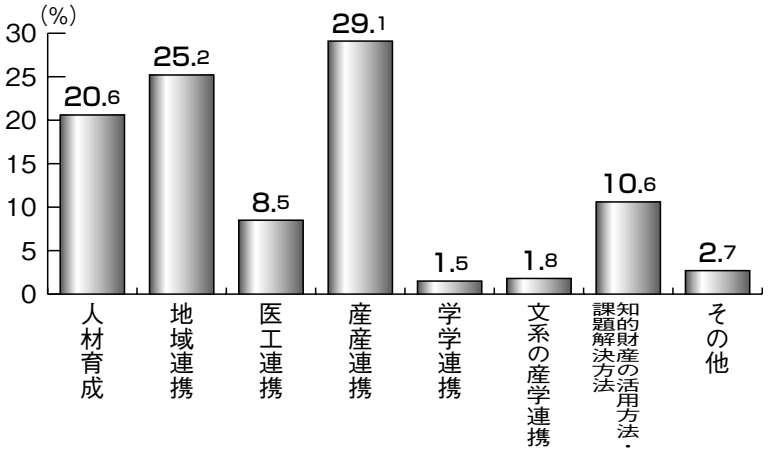
Q6 本フェアに来られた目的は？
（複数回答）



Q7 現在希望している連携分野は？
（複数回答）



Q8 産学官で関心のあるテーマは？
（複数回答）



入場登録者数ベスト100

1 東京電力
2 トステム
3 中部電力
4 NIPPO
5 富士通
6 日本環境
7 東京都
8 ライオン
9 第一カッター興業
10 東京都中小企業振興公社
11 三和シヤッター工業
12 工学院大学
13 応用地質
14 ランドソリューション
15 日立キャピタル
16 都市再生機構
17 西松建設
18 丸善薬品産業
19 凸版印刷
20 中外テクノス
21 昭和電工
22 三浦工業
23 キヤノン
24 日産自動車
25 大林道路
26 小西安
27 三菱電機
28 環境管理センター
29 レンタルのニッケン
30 伊藤忠マシンテクノス
31 日立プラント建設サービス
32 日鉱商事
33 東急建設
34 大日本印刷
35 西谷商事
36 出光興産
37 ニコン
38 宇津商事
39 フコク物産
40 パナソニック
41 KYB
42 菱江化学
43 日油
44 住軽商事
45 芝浦メカトロニクス
46 極東商会
47 荏原製作所
48 トクヤマ
49 IHI
50 フジクス
51 ソーダニッカ
52 SMC
53 美浜
54 日本エンヂニヤー・サービス
55 大和小田急建設
56 大伸化学
57 西華産業
58 三菱化工機
59 三協マテリアル
60 栗田エンジニアリング
61 日立ハイテクノロジーズ
62 山武
63 ニッコークリエート
64 キサミツ技研
65 イワキ
66 アクティオ
67 稲垣薬品興業
68 ヤマハ発動機
69 JUKI
70 鈴与商事
71 富士重工業
72 鍋林
73 東洋インキ製造
74 東海光学
75 森六ケミカルズ
76 山口県LPガス協会長門支部
77 三菱ガス化学
78 国際環境ソリューションズ
79 鈴木商館
80 前川製作所
81 ブリヂストン
82 ソニー
83 スタンレー電気
84 オリエンタルモーター
85 富士電機システムズ
86 日立オートモティブシステムズ
87 日本錬水
88 日本液炭
89 科学技術振興機構
90 第一実業
91 足利銀行
92 昭和飛行機工業
93 古河産機システムズ
94 兼松
95 興国インテック
96 古澤石灰工業
97 オムロン
98 日本食研製造
99 大和ハウス工業
100 三谷産業

主な広報宣伝活動

■2010 洗浄総合展

項目		数量	内容	実施期間
ポスター	A1判	550部	協賛、後援	2010年2月～
インターネット			来場募集ホームページ	2010年9月～
日刊工業新聞	記事	計７回	「洗浄総合展　出展者募集と開催告知」１面、６面	2010年1月21日
			「洗浄総合展　今日開幕」１面	2010年10月13日
			「洗浄展他　開会レセプション」３面	2010年10月14日
			「洗浄総合展　見てある記（上）」６面	2010年10月14日
			「洗浄総合展　見てある記（下）」７面	2010年10月15日
			「旭化成フェロー　吉野氏　特別講演」	2010年10月15日
			「洗浄総合展　閉幕 来場者７万人越す」２面	2010年10月18日
	企画特集	１回	「2010洗浄総合展　特集」	2010年10月13日
	社告・広告	13回	全面（カラー１色、）全五段、半五段	2010年2月26日～
	紙上プレビュー	４回	出展企業紹介、一回につき８～10社を紹介	2010年9月28日～
雑誌広告			月刊BE建築設備	2010年10月号
			日経ものづくり	2010年10月号
			週刊住宅	2010年10月4日号
			プレス技術	2010年10月号
			機械設計	2010年10月号
			型技術	2010年10月号
			工場管理	2010年10月号
			工業材料	2010年10月号
			ISOマネジメント	2010年10月号
			原子力eye	2010年10月号
			機械技術	2010年10月号
			化学装置	2010年10月号
			電子材料	2010年10月号
その他のパブリシティー（新聞、インターネット、雑誌）			化学工業日報	2010年5月～
			半導体産業新聞	2010年5月～
			イプロス（16万件）	2010年10月6日
ニュースリリース			新聞社、雑誌社、その他各種媒体へ案内	2010年10月～
交通広告（駅貼り広告）			・JR京浜東北線、りんかい線（東京、品川など）	2010年10月6日～12日
招待券（４展共通）	出展者用	200,000部	出展者に無料配布（封筒とセット）	2010年9月7日～
	主催者用	200,000部	主催者送付 ・後援、協賛団体 ・弊社主催の展示会、セミナー来場者 ・都道府県会館 ・弊社発行「新製品情報」購読者 ・日刊工業新聞社、支社、支局	2010年9月7日～
開会式招待状		700部	後援・協賛団体、出展代表者、関連団体へ配布	2010年9月下旬
新聞折り込みチラシ		約250万枚	新聞販売店（朝日、読売、毎日など）より、各事業所及び一般世帯に配布 配布地区：東京23区、多摩地区、関東甲信越、東海、近畿、中国、四国	2010年10月～
E-mail		約25万通（計４回）	弊社主催の展示会、セミナー来場者へ発信	2010年9月下旬～
出展者名簿（ガイドブック）４展共通		35,000部	来場者へ無料配布	会期中
ハンディガイド		35,000部	来場者へ無料配布	会期中

■2010 土壌・地下水環境展／ecobuild 2010／産学官ビジネスフェア 2010

項目		数量	内容	実施期間
ポスター	A1判	650部	協賛、後援	2010年2月～
インターネット			来場募集ホームページ	2010年9月～
日刊工業新聞	記事	計７回	「土壌／地下水環境展　今日開幕」１面	2010年10月13日
			「洗浄・土壌・エコビルドなどの６展示会開幕」１面	2010年10月14日
			「柴垣環境課長　特別セミナー」13面	2010年10月14日
			「洗浄総合展他　開会レセプション」３面	2010年10月14日
			「土壌・地下水環境展／エコビルド　見てある記(上)」13面	2010年10月14日
			「土壌・地下水環境展／エコビルド　見てある記(下)」13面	2010年10月15日
			「土壌・地下水環境展／エコビルド　閉幕」２面	2010年10月18日
	広告特集	１回	「土壌・地下水環境展・エコビルド・産学官　特集」16面	2010年10月13日
	社告・広告	26回	全面（カラー１色、）全五段、半五段（３展分）	2010年3月30日～
	紙上プレビュー	８回	出展企業紹介、一回につき３～４社を紹介（土壌・エコ）	2010年9月27日～
雑誌広告			月刊BE建築設備	2010年10月号
			日経ものづくり	2010年10月号
			週刊住宅	2010年10月4日号
			プレス技術	2010年10月号
			機械設計	2010年10月号
			型技術	2010年10月号
			工場管理	2010年10月号
			工業材料	2010年10月号
			ISOマネジメント	2010年10月号
			原子力eye	2010年10月号
			機械技術	2010年10月号
			化学装置	2010年10月号
			電子材料	2010年10月号
その他のパブリシティー（新聞、インターネット、雑誌）			月刊環境ビジネス	2010年11月号※土壌・エコ
			環境新聞	2010年10月13日 ※土壌のみ
			イプロス（16万件）	2010年10月6日
			週刊ビル経営	2010年10月4日号
ニュースリリース			新聞社、雑誌社、その他各種媒体へ案内	2010年10月～
交通広告（駅貼り広告）			・JR京浜東北線、りんかい線（東京、品川など）	2010年10月6日～12日
招待券（４展共通）	出展者用	200,000部	出展者に無料配布（封筒とセット）	2010年9月7日～
	主催者用	200,000部	主催者送付 ・後援、協賛団体、関連業界団体 ・弊社主催の展示会、セミナー来場者 ・都道府県会館 ・弊社発行「新製品情報」購読者 ・日刊工業新聞社、支社、支局	2010年9月7日～
開会式招待状		700部	後援・協賛団体、出展代表者、関連団体へ配布	2010年9月下旬
新聞折り込みチラシ		約250万枚	新聞販売店（朝日、読売、毎日など）より、各事業所及び一般世帯に配布 配布地区：東京23区、多摩地区、関東甲信越、東海、近畿、中国、四国	2010年10月～
E-mail		約25万通（計４回）	弊社主催の展示会、セミナー来場者へ発信	2010年9月下旬～
出展者名簿（ガイドブック）４展共通		10,000部	来場者へ無料配布	会期中
ハンディガイド		10,000部	来場者へ無料配布	会期中

広告・告知・記事

■社告「2010 洗浄総合展」

「2010 洗浄総合展」

出展募集

日刊工業新聞社は日本洗浄技能開発協会、日本産業洗浄協議会と共催で「2010洗浄総合展」を開催します。隔年開催で今回、14回目を迎える本展は、産業洗浄分野で国内最大の出展規模、来場者数を誇っています。テーマは、「時代を洗う、地球を守る。」。関係各位の積極的な参加をお願いします。

（６面に詳細）

【会期】10月13日－15日（金）
【会場】東京ビッグサイト

www.nikkan.co.jp

日刊工業新聞　2010年1月21日

■社告「2010 土壌・地下水環境展」

2010 土壌・地下水環境展

出展募集

日刊工業新聞社は土壌環境センターと共催で〝汚染を無くし、きれいな大地を未来に〟をテーマに「2010土壌・地下水環境展」を開催します。関係各位の、時代に適応した製品、技術の積極的な参加をお願いします。

（11面に詳細）

【会期】10月13日（水）－15日（金）
【会場】東京ビッグサイト

www.nikkan.co.jp

日刊工業新聞　2010年3月23日

2010 洗浄総合展

出展募集

（1面参照）

▽会期＝10月13日（水）－15日（金）
▽会場＝東京ビッグサイト
▽出展対象＝高圧洗浄機器・装置、洗浄装置、洗浄剤、周辺機器、回収機器・装置、調査・測定・分析機器・装置、VOC対策関連機器、安全・保護具など
▽出展料金（税込み）
◇屋内小間1小間（間口2・97m×奥行き2・97m）主催団体会員企業＝31万5000円、一般＝33万6000円
◇屋外小間1小間（同4m×同3m・スペース渡し）主催団体会員企業＝23万1000円、一般＝25万2000円
▽申し込み締め切り＝6月30日（水）
▽申し込み・問い合わせ＝日刊工業新聞社業務局イベント事業部〒103－8548東京都中央区日本橋小網町14の1
TEL03・5644・7221
FAX03・5641・8321
eメール j'event@media.nikkan.co.jp

主催　（社）日本洗浄技能開発協会
日本産業洗浄協議会
日刊工業新聞社

日刊工業新聞　2010年1月21日

2010 土壌・地下水環境展

出展募集
＊1面参照

▷会期＝10月13日（水）－15日（金）
▷会場＝東京ビッグサイト
▷出展料金＝1小間（間口2.97m×奥行2.97m）＜主催団体会員31万5000円、一般33万6000円（税込み）＞
▷出展対象＝土壌・地下水汚染調査・コンサルティング、測定・分析・検出機器、浄化・処理システム、浄化技術・装置、浄化剤、ソフト、土壌調査関連機器、安全保護用品、リスクマネジメント・評価、情報、その他
▷申し込み・問い合わせ＝「2010土壌・地下水環境展」事務局　日刊工業広告社〒103―0025東京都中央区日本橋茅場町2の7の10茅場町第3長岡ビル
TEL03・5614・3080
FAX03・5614・3011
Eメール dojyo10@nikkanad.co.jp

主催（社）土壌環境センター
日刊工業新聞社

日刊工業新聞　2010年3月23日

■社告「ecobuild 2010」

ecobuild 2010 ～エコビルド～

出展募集

日刊工業新聞社はエコビルド実行委員会、財団法人建築環境・省エネルギー機構と共催で「ecobuild2010」を開催します。テーマは〝建築と都市の地球環境ソリューション〟。関係各位の積極的な参加をお願いします。

（19面に詳細）

【会期】10月13日（水）－15日（金）
【会場】東京ビッグサイト

www.nikkan.co.jp

日刊工業新聞　2010年3月25日

■社告「産学官ビジネスフェア 2010」

産学官ビジネスフェア2010

出展者募集

日刊工業新聞社は10月13日（水）－15日（金）の３日間、東京ビッグサイトで「産学官ビジネスフェア2010」を開催します。研究成果、特許技術などをビジネスにつなげる場の提供、さらなる産学官連携の推進を目的としています。関係各位の積極的な参加をお待ちしています。

（23面に詳細）

日刊工業新聞社

www.nikkan.co.jp

日刊工業新聞　2010年4月23日

ecobuild 2010 ～エコビルド～

出展募集

＊１面参照

▷会期＝10月13日（水）－15日（金）
▷会場＝東京ビッグサイト
▷出展対象＝環境建築ソリューション、ヒートアイランド対策、エコマテリアル、雨水利用技術、再生可能エネルギー、省エネルギー・排熱利用・蓄電、環境支援システム、生物多様性など
▷出展料金＝１小間33万6000円（間口2.97m×奥行2.97m＝税込み）
▷申し込み締め切り＝６月30日（水）
▷申し込み・問い合わせ＝日刊工業新聞社業務局イベント事業部「ecobuild」事務局（〒103―8548 東京都中央区日本橋小網町14の１）
TEL03・5644・7221 FAX03・5641・8321
Eメール
j－event@media.nikkan.co.jp

主催　エコビルド実行委員会
財団法人建築環境・省エネルギー機構
日刊工業新聞社

日刊工業新聞　2010年3月25日

産学官ビジネスフェア 2010

出展募集

＊１面参照

▷会期＝10月13日（水）－15日（金）
▷会場＝東京ビッグサイト
▷展示内容＝ビジネス化を目的とした研究成果物、移転可能技術、特許技術、新製品・新技術など
▷出展料金＝民間企業29万4000円（税込み、１小間３×３㍍）、政府系・公的機関・ＴＬＯ26万2500円（同）、大学・高専15万7500円（１小間２×２㍍）
▷特別企画＝「第３回国際マグネシウム展in東京ビッグサイト」ほか
▷申し込み・問い合わせ＝日刊工業新聞社業務局イベント事業部「産学官ビジネスフェア2010事務局」
TEL03・5644・7221
FAX03・5641・8321
eメールj－event@media.nikkan.co.jp

主催　日刊工業新聞社
後援　内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、農林水産省、コラボ産学官、産学連携学会（以上予定）

日刊工業新聞　2010年4月23日

■交通広告（掲載期間10月6日～12日）

池袋駅

新橋駅

上野駅

東京駅

新宿駅

横浜駅

日刊工業新聞企画特集

Clean Technology

Reco

「新世代洗浄」をアクアが提案します

低コスト
高性能
環境対応

■洗剤を使わない水だけ洗浄
■従来以上の脱脂性能と品質
■蒸留再生なみの洗浄水再生能力
■排水の出ないクローズドシステム
■水だけで脱脂が出来るプレス油
■排水処理も洗剤も不要の水洗浄

超熱水洗浄
水洗浄対応プレス油
排水リサイクル

クリーンテクノロジー創造企業
AQUA アクア化学株式会社
〒594-1144 大阪府和泉市テクノステージ3-7-24 TEL.0725-53-5510 FAX.0725-53-5520
詳細・資料請求は当社HPにて! http://www.aqua-c.com

洗浄実験センター
洗浄試験受付中
お問い合わせは
TEL 0725-53-5510

2010洗浄総合展
会　期：10月13日(水)～15日(金)
会　場：東京ビッグサイト
小間番号：東1ホール W-058

2010 洗浄総合展

PAN-EXHIBITION FOR WASH AND CLEAN 2010

きょう開幕

10月13日(水)―15日(金)
東京ビッグサイト

「産業洗浄技能士」の活用に向けて

社団法人日本洗浄技能開発協会 理事長
本多　清治

地球規模の温暖化が原因とされている異常気象が続いている昨今、すべての生命の源となっている水を利用した高圧水洗浄は、環境に優しい水の特徴を利用した技術であり、それを実現する製造装置です。

産業洗浄は産業用の設備や上下水道などの公共設備の洗浄により、さまざまな産業の発展や国民の豊かな生活を支える重要な工程です。産業洗浄が求められてきました。近年関心が高まっている環境問題への対応から、より高度な洗浄技能に加え、正確かつ広範な知識と、正確かつ広範な知識が求められております。

厚生労働省では関係団体の協力の下、産業洗浄技能士の育成に取り組んでおりました。

今後とも、産業洗浄業界におかれましては、優れた産業洗浄技能者の育成に積極的に取り組まれることが期待されます。

「2010洗浄総合展」は、産業洗浄に関する技能検定試験を高圧洗浄作業および化学洗浄作業の2分野で実施されるだけでなく、産業洗浄に携わる方が一堂に会し、技術交流を図るものであると考えます。これを機に、より一層、産業洗浄技能の重要性が認識されますとともに、今後とも産業洗浄業界が発展されますことを祈念しております。

ビジネスチャンスを切り開く契機に

経済産業省 製造産業局 産業機械課長
藤木　俊光氏

世界の市場において、高い競争力を持つわが国の製造業は、わが国の経済全体を支える根幹です。その製造業の礎は、さまざまな製品・部品の製造工程で利用される技術であり、それを実現する製造装置です。

産業洗浄はわが国の産業の発展を支える重要な装置や技術であり、わが国製造業の競争力を支える源泉の一つとなっています。現在、産業洗浄装置は、自動車部品や電気、電子機器の製造をはじめとするモノ作りの工程において必要不可欠なものです。

一方で、環境面の保全に対する社会的要請は、年々高まっており、揮発性有機化合物・VOC(の排出抑制マニュアルなどの啓発・普及のための講習事業に取り組んでおられ、このことは、わが国の地球温暖化対策に寄与するものであり、大変評価されております。

今回の2010洗浄総合展が、産業洗浄装置業界の皆さまのこうした課題への取り組みの成果を紹介する有意義な場となるとともに、新たなビジネスチャンスを切り開く契機となるよう祈念しております。

地球環境と先端技術を支える洗浄技術を

日本産業洗浄協議会 会長
赤木　裕

日本産業洗浄協議会(JICC)は、産業洗浄分野で地球環境問題に取り組むことを目的として設立されたことと、洗浄技術に関心をもつ異業種の組合せによる組織であることが、ほかの工業団体と異なる大きな特徴となっております。

日本産業洗浄協議会(JICC)は、産業洗浄分野で地球環境問題に取り組むことを目的として設立されたことと、洗浄技術に関心をもつ異業種の組合せによる組織であることが、ほかの工業団体と異なる大きな特徴となっております。

「モノづくり基盤技術」の一つである洗浄技術は、ほかの基盤技術を支える重要な役割を担っています。そして新しい製品が世の中に紹介されるに当たっては、その製造現場では必ずといって新しい加工工程、新しい素材、新しい加工技術が要求されます。

特別企画の「VOC対策ゾーン」では、各洗浄工程における揮発性有機化合物・VOC)排出抑制を支援するとともに、将来の化学物質管理をシステム化するツール(CEVABAT)をご紹介いたします。環境新時代における JICCの活動に期待下さい。

ごあいさつ

今回の「2010洗浄総合展」では、旭化成の「リチウムイオン二次電池と洗浄について」が予定されていますが、リチウム電池は次世代ハイブリッド車や電気自動車の基幹部品であり、洗浄もその製造工程では必須の技術です。

「洗浄総合展」は産業洗浄に関する国内外のメーカーが一堂に会し、2年に一度、最新の技術と製品を披露する展示会です。より多くの皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

産業の発展を支える重要な工程

厚生労働省 職業能力開発局 能力評価課長
星　直幸氏

メッセージ

今まさに価値を買う時代到来!!

2010 洗浄総合展 PAN-EXHIBITION FOR WASH AND CLEAN 2010
出展小間番号 W-062

日本のモノ作りを悲観するのはSTOP
今、工業洗浄機も made in JAPAN
日本製は安全で品質が高く長持ちする。だから結果的に安い。
中国の人々が何故日本製を求めるのか？ その理由も考えましょう。

洗浄前後を含めたオリジナル仕分け　今、無駄を省く新商品続々デビュー

❶縦型多段式真空洗浄装置“VONOVO”
❷槽内自動掃除機“さらば清掃”
❸真空汚溶剤濃縮装置“オイルフィールド”
❹水を使わない真空ボイラー開発
❺低価格汚水蒸発装置“真空ドレンバック”
❻メタノール等を使わない低コストの水切法
❼溶剤蒸気内乾燥方法　乾燥シミなし
❽加工油の節約方法開発
❾汚れ粒子の再付着しない技術開発
❿国内外のアフターを画像メンテ®で安価対応開始

代表取締役社長 内野正英
～創業42年～

〈1995年のフロン全廃の中、生き残った1社です。〉
FIELD ジャパン・フィールド株式会社
本社　〒352-0011 埼玉県新座市野火止4-19-85　TEL 048-479-7331(代)　FAX 048-477-2288
URL http://www.field.co.jp/　E-mail info@field.co.jp

発明特許100件以上

フィールドリサーチ充実
残留油分測定・残留イオン濃度測定
(最新型オメガメーターを導入) 受託承ります。

— 低VOC・一液洗浄システム —
マイクロクリーナーECO
水で3倍希釈

【特長】
1.弊社洗浄用マイクロクリーナ ECO-3000を水で3倍希釈して使用するため、低VOCで経済的
2.一次で洗浄、仕上、乾燥できる
3.無洗浄の脱クリーなんたフラックス、油指紋、水垢汚れにも効果の洗浄力
4.内蔵された純度1μ以下の精密濾過装置により、ロングライフ、低コスト化を実現
5.装置は極めてコンパクトで省スペース容易

はんたパレット洗浄機
パレットクリーナー
PCM-BC

【特長】
●有機洗浄剤パレクリーナで効果抜群
●バンドを使つけるレジャーク洗浄
●ドアが1分のスピード洗浄
●コンパクトで低価格設定

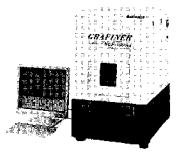
化研テック株式会社
本社：〒576-0031 大阪府交野市森南3丁目39番6号　ホームページ
TEL.(072)894-2590　FAX.(072)894-2592　http://www.kaken-tech.co.jp
営業所：〒470-2597 愛知県みよし市莇生町長引61-1
TEL.(0561)32-6712　FAX.(0561)32-6713
2010洗浄総合展　東2ホール W-014

新製品　揺動チャンバー洗浄機　W-048 に登場!!

少ないノズルで全面洗浄する画期的な洗浄機
大きな省エネ効果と高精度洗浄を洗浄

主要展示物
揺動チャンバー洗浄機
高速スピン乾燥洗浄機
残留異物自動測定器
コンタミ採取装置
水分・乾燥度測定器

出展物の見どころ
弊業界のものの通りに活躍する「洗浄～測定のトータルプランナー」の洗浄機総合メーカーとして、森合精機はより時代のニーズに沿った新たな洗浄機と洗浄評価測定ツールを一同に今回展示いたしました。是非共、皆社ブースへのお立寄りをお待ち申しております。



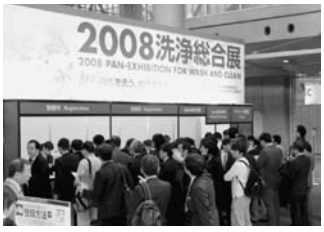
ご好評の残留異物自動測定器グラファイナーに卓上タイプを商品化

ロータリー洗浄・ロボット洗浄・コンタミ測定器
森合精機株式会社
http://www.morigoseiki.co.jp
〒674-0093 兵庫県明石市二見町南二見10番2
☎078-944-0808代　FAX078-944-0806
MORIGO SEIKI

テーマは W時代を洗う、地球を守る。

産業用洗浄はモノづくりの基礎技術

日刊工業新聞社は日本洗浄技能開発協会、日本産業洗浄協議会との共催で、きょう13日（水）から15日（金）までの3日間、東京・有明の東京国際展示場（東京ビッグサイト）で産業用洗浄の専門展示会「2010洗浄総合展」を開催する。隔年開催で今回が14回目、今回は特別企画として「水利用の世界」「VOC対策ゾーン」「溶剤リサイクルコーナー」を展開する。展示会の開催時間は10時～17時（最終日は16時30分まで）。入場料は無料。14日（木）、14時～15時には、吉野彰旭化成新事業本部吉野研究室長による特別講演「リチウムイオン二次電池と洗浄について」を東京ビッグサイト会議棟レセプションホールBで開く。このほか、日刊工業新聞社などの主催による二つの展示会「2010土壌・地下水環境展」「ecobuild2010」が同時開催となる。地球環境に関する情報を幅広く収集する機会となりそうだ。



産業用洗浄は金属加工や電気製品、光学レンズ、輸送機器、半導体、液晶パネル、プリント基板などに広く高付加価値製品をつくる産業の基礎技術に当たる。洗浄プロセスは金属加工や表面処理を伴う製造において不可欠なプロセスとなっている。製品の仕上がりに加えて、製品の機能、品質、安全性にまでかかわる重要な役割を担っている。洗浄する部品や、汚れの種類、洗浄の要求度、処理量、作業性、コストなどを考慮して、洗浄剤や洗浄装置、洗浄システムが選ばれている。

産業用洗浄は公共施設や各種生産設備の稼働、維持などにも活用されている。高圧水をノズルから噴射したときの衝撃力を利用して、建物の壁や、タンクの内外面、上辺機器などを一度に集めた国内最大規模の専門展示会で、今回のテーマは「時代を洗う、地球を守ることを目的とした展示会「2010洗浄総合展」が開かれる。

2010洗浄総合展は産業用洗浄に関する洗浄機・システムや、洗剤・回収機器・装置、周辺機器などを一堂に集め、熱交換器の洗浄では従来の機能を回復し生産性の向上につながっている。

会場は東京ビッグサイトの東1ホールと東2ホールの一部。開催規模は106社・団体・276小間となっている。

同展は洗浄機器・システム、洗浄剤、回収機器・装置、周辺機器などを展示、紹介する。

このうち、洗浄機器関係では、引火性を抑制した洗浄機や、乾燥時間の短縮や省スペースを実現した洗浄機器などが出品される。

洗浄剤関係では金部品の脱脂用途をはじめ、さまざまな洗浄に使われる炭化水素系洗浄剤や、素材を傷つけることのない洗浄剤、河川に流出した場合でも分解する洗浄剤などがエントリーされている。

さらに多種多様な洗浄対応した洗浄ノズルや、含水率の高い廃液に対応する脱水乾燥装置、一般排水できるように浄化する廃液処理装置なども、今回の展示会で紹介される。

また洗浄機、洗浄力や安全性を高めた真空洗浄装置、数値制御（NC）ノズルで高精度の穴狙いを実現した洗浄装置などが出品される。

新たな特別企画「溶剤リサイクル」も

特別企画として高圧水を中心とした「水利用の世界」を開催。環境に配慮した技術として「噴流による水質浄化」「ライクロバブル」や、高圧水ウオータージェットの応用技術としてWJ（ウオータージェット）カッター」「建設への適用」などを行う。

また特別企画の「VOC対策ゾーン」では、経済産業省、環境省、東京都、製品評価技術基盤機構などによる揮発性有機化合物（VOC）関連の施策や対策法を一覧できる展示エリアを設置する。パネルの展示や参考資料を配布する。

さらに新しい特別企画を追加する。洗浄後の廃液処理の技術として、濾過装置や回収装置などを中心とした「水利用の世界」を開催。環境に配慮した技術として「噴流による水質浄化」「ライクロバブル」や、高圧水ウオータージェットの応用技術としてWJ（ウオータージェット）カッター」「建設への適用」などを行う。

また特別企画の「VOC対策ゾーン」では、経済産業省、環境省、東京都、製品評価技術基盤機構などによる揮発性有機化合物（VOC）関連の施策や対策法を一覧できる展示エリアを設置する。パネルの展示や参考資料を配布する。

さらに新しい特別企画を追加する。洗浄後の廃液処理の技術として、濾過装置や回収装置などを中心とした「水利用の世界」を開催。環境に配慮した技術として「噴流による水質浄化」「ライクロバブル」や、高圧水ウオータージェットの応用技術としてWJ（ウオータージェット）カッター」「建設への適用」などを行う。

特別講演「リチウムイオン二次電池と洗浄について」では、携帯電話やパソコンに用いられるリチウムイオン二次電池の研究から洗浄分野を含めた製造開発について、開発者の吉野室長を招いて講演する。

このほか、低炭ビッグサイトでは、14日10時～16時59分には日本産業洗浄協議会（JICC）主催の「第14回JICC技術フォーラム2010」が東京ビッグサイトで開かれる。参加費は一般が1万円、JICC会員が6000円、定員120人。参加問い合わせ・申し込みは同協議会事務局（☎03・3453・8165）へ。

特別講演「リチウムイオン二次電池と洗浄について」を東京ビッグサイト会議棟レセプションホールBで開く。このほか、日刊工業新聞社などの主催による二つの展示会「2010土壌・地下水環境展」「ecobuild2010」が同時開催となる。地球環境に関する情報を幅広く収集する機会となりそうだ。

リチウム電池と洗浄で発明者が講演

日が12時30分～13時15分、13時15分～13時30分、14時15分～15時15分に「キャビテーションの不思議な世界」を予定。14日は11時30分～12時15分に「噴流式水質改善技術」、12時30分～13時15分に「マイクロバブルの基礎と工学的応用」、13時30分～14時15分に「VOC排出削減に向けた技術開発」、14時30分～15時15分に「環境負荷低減を目指した排水処理技術」を実施する。

そして13日は12時30分～13時15分に「超高圧機器の安全対策」、13時30分～14時15分に「熱風発生機とその応用最適化技術」を行う。

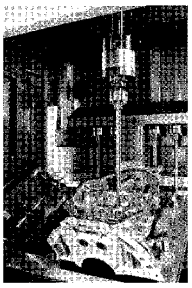
このほか、低炭ビッグサイトでは、14日10時～16時59分には日本産業洗浄協議会（JICC）主催の「第14回JICC技術フォーラム2010」が東京ビッグサイトで開かれる。参加費は一般が1万円、JICC会員が6000円、定員120人。参加問い合わせ・申し込みは同協議会事務局（☎03・3453・8165）へ。

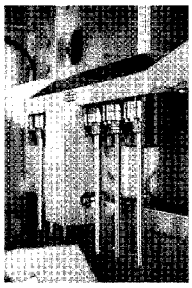
ツールチェンジ式高圧CNC洗浄機

2010洗浄総合展
小間番号　W-057

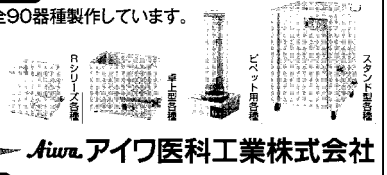
KNC-01
http://www.kan-mf.co.jp

・新開発のツールチェンジにより、最大60MPa、高精度角度制御を実現
・駆動ユニットの早送り速度最大50m/minで、クラス最高速
・NCA軸テーブル（オプション）を組み合わせると、複雑な形状の洗浄が可能
・複数ノズルが搭載可能で、ワークに合わせて選択できます。





株式会社 菅製作所
KAN KAN MANUFACTORY CO.,LTD.
本社・工場／〒994-0069 山形県天童市清池東二丁目6番11号
☎023-655-6100(代)　FAX023-655-6101
E-mail：info@kan-mf.co.jp

強力&低音　超音波洗浄器
超音波洗浄器の専門メーカー　工業用・理化学用・歯科用・医科用
1ℓクラスから400ℓクラスまで
★低価格で高品質な製品を、全90器種製作しています。
『製品総合カタログ No.2010』を、ぜひご請求下さい。


Aiwa アイワ医科工業株式会社
資料請求先　〒340-0003　埼玉県草加市稲荷3-13-25
TEL.048-935-7911　FAX.048-935-0210

限りある資源　循環型社会への挑戦!!
洗浄用純水製造装置

水処理用 FRP製タンク [耐熱容器]
各部品販売も可能
イオン交換樹脂・ポンペ・活性炭ろ材フィルター・水質計・集水管・ハウジング・ヘッド・キャップ・スカート 等
各種ポンペ(5~1500ℓ)を用意しております。
Water Solution System
水処理機能材類の洗浄再生利用技術
1. 水処理用膜(RO、UF、MF、MBA)の ⇒ 洗浄再生
2. EDI & CDIの電気透析膜の ⇒ 洗浄再生
3. イオン交換樹脂の ⇒ 洗浄再生
4. 活性炭ろ材の ⇒ 焼却再生
・重金属類の回収
・一般純水用樹脂の再生
・低TOC及び高純度樹脂の再生
SHIN-EI 伸栄化学産業株式会社
本社 〒341-0051 埼玉県三郷市彦名1-129
TEL048-953-1616(代) FAX048-953-1688
URL http://www.shin-ei-chem.co.jp
洗浄再生には機能水による低環境負荷型化学洗浄法を採用しています。

環境に配慮したシステム・機器

シリコン太陽電池のエネルギー変換効率を高めることに成功した欠陥消滅型半導体洗浄技術の開発

大阪大学産業科学研究所半導体材料・プロセス研究分野　教授　小林　光

大阪大学産業科学研究所半導体材料・プロセス研究分野の小林光教授を中心とする小林研究室は、シリコン表面の金属汚染を除去すると同時に原子レベルの欠陥も伴せて消滅させる洗浄技術を開発した。この洗浄技術は半導体製造だけでなく、太陽電池製造向けに洗浄コスト低減や、エネルギー変換効率の向上に貢献することも分かった。そこで小林教授に解説してもらった。

金属汚染除去と原子レベル欠陥の消滅も

大阪大学産業科学研究所の小林研究室は、半導体上の金属汚染を除去すると同時に、半導体にある欠陥準位(不完全な結合など)の欠陥(=欠陥)を消滅する新しい技術「欠陥消滅型半導体洗浄技術」を開発した。

例えばシリコンを材料とする半導体の上の金属汚染物は、その量(厚さ)が原子層の10万分の1とごく微量でも、コンピューターなどに用いられているLSIや、液晶ディスプレーなどに用いられている薄膜トランジスタ(TFT)、そして太陽電池など、半導体を用いる製品の特性を劣化させる。LSIは500度のプロセスを用いて製造されているが、その4分の1から3分の1は洗浄プロセスである。従来の洗浄技術では半導体の表面を少しエッチングすることで汚染物を除去している。このエッチングが半導体製品の製造プロセスの1/3を占めるなど、洗浄コストは高くなり、その結果

13　2010年(平成22年)10月13日　水曜日　日刊工業新聞　Business & Technology　【広告特集】

産業用洗浄関係団体が安全、環境、生産に力

産業用洗浄に関係するいくつかの団体が、安全や、環境、生産面の取り組みで力を入れている。高圧洗浄の安全作業を徹底させるため、講習会を計画したり、環境問題・国際化への対応を積極的に展開したり、最小単位で製造する新生産モデル向けの装置を開発したりしている。各団体の動向を探った。

高圧洗浄作業安全管理講習会

全国7、8カ所で計画

日本洗浄技能開発協会（JWA）は2011年4月をめどに、産業洗浄技能士を受講者とする高圧洗浄作業安全管理講習会を始める。高圧水洗浄装置による災害を踏まえ、あらためて高圧洗浄の安全作業を徹底させる。これによって高圧洗浄作業が「組織化され、災害のない、安全な高圧洗浄作業が実施されることを狙っている。

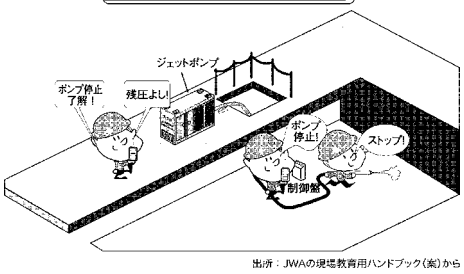
高圧洗浄作業は復動ポンプで加圧した高圧水を、洗浄対象物である種設備器のさまざまな付着物に向かって噴射し、同付着物を機除去して洗浄する。今後、安全教育の詳細を固める。高圧洗浄作業の基本知識を持つ産業洗浄技能士で、実務の経験者を受講対象者として、全国7、8カ所での講習実施を想定。受講テキストのほか、現場教育用のハンドブックも作成する方針だ。

日本洗浄技能開発協会（JWA）は2011年4月をめどに、産業洗浄技能士を受講者とする高圧洗浄作業安全管理講習会を始める。高圧水洗浄装置による災害を踏まえ、あらためて高圧洗浄の安全作業を徹底させる。これによって高圧洗浄作業が「組織化され、災害のない、安全な高圧洗浄作業が実施されることを狙っている。

このためJWA厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課や中央労働災害防止協会の指導の下、あらためて高圧洗浄の安全作業を徹底させるため、「高圧洗浄作業の安全衛生管理」のテキストを作成し、安全教育を実施することにした。

生労働省労働基準局安全衛生部安全課や中央労働災害防止協会の指導の下、あらためて高圧洗浄の安全作業を徹底させるため、「高圧洗浄作業の安全衛生管理」のテキストを作成し、安全教育を実施することにした。

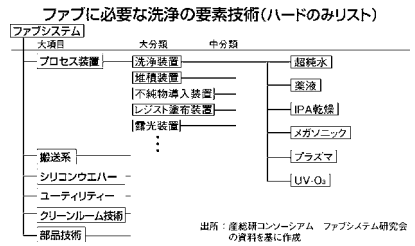
作業時の合図は確実に



出所：JWAの現場教育用ハンドブック（案）から

日本洗浄技能開発協会

ファブに必要な洗浄の要素技術（ハードのみリスト）



出所：産総研コンソーシアム　ファブシステム研究会の資料を基に作成

海外研修生らに

洗浄技術を紹介

日本産業洗浄協議会

日本産業洗浄協議会（JICC）は、洗浄場における環境問題への対応として①オゾン層破壊物質の排出抑制に取り組んできた。また洗浄剤の選択から、衛生管理、使用洗浄剤の排出抑制、再生、再利用、廃棄まで総合的に環境負荷の低減ができる洗浄工程をユーザーに提供できるように努力している。洗浄装置、周辺機器において、回収、再利用、排出量低減などの技術の普及に乗り出している。

日本産業洗浄協議会（JICC）は、洗浄場における環境問題への対応として①オゾン層破壊物質の排出抑制に取り組んできた。また洗浄剤の選択から、衛生管理、使用洗浄剤の排出抑制、再生、再利用、廃棄まで総合的に環境負荷の低減ができる洗浄工程をユーザーに提供できるように努力している。洗浄装置、周辺機器において、回収、再利用、排出量低減などの技術の普及に乗り出している。

ミニマル・ファブ向け洗浄装置　来春　登場へ

ファブシステム研究会

産業技術総合研究所（産総研）が設立したコンソーシアムのファブシステム研究会は、2011年度をめどに、必要に応じた数の半導体チップを1個ずつ生産する半導体工場向け洗浄装置のプロトタイプを完成し、提供を始める見通しだ。

同研究会は新しい生産モデルとして、最小単位での製造を行うミニマル・ファブモデルの具現化を進めている。今回のプロトタイプはそのミニマル・ファブを構成する装置群の一つとして開発が進んでいる。

このミニマル・ファブの半導体工場は、約10メートル四方の敷地に建つ小規模な工場を想定、15年にも加も期待されている。

また例年1月から2月にかけて、経済産業省の指導の下、国際協力機構（JICA）の委託で、途上国からの代表技術研修生に対して日本の洗浄技術を紹介し展示する。

展示の途上国視察団の参加も期待されている。

また例年1月から2月にかけて、経済産業省の指導の下、国際協力機構（JICA）の委託で、途上国からの代表技術研修生に対して日本の洗浄技術を紹介し展示している。

管製作所

管製作所の新型ツールチェンジ式高圧CNC洗浄機（NC）は、ノズルを別置きのマガジン（容器）に収納することで、目的に応じたノズル選択が無制限に、かつ高速で行うことができる。ノズルの回転数や、角度の制御が可能。さらにノズルの噴射方向を精密に制御することで、高精度ピンポイントで狙う洗浄を実現した。

また角度制御を必要とした高圧洗浄を行う場合も、ノズル移動速度の高速化によって洗浄の要求時間を同社従来の40％短くすることが可能になった。

溶剤リサイクルのリーディングカンパニーとしてVOC排出抑制活動の支援をします。

■VOC回収装置のご提案
自社開発品（エコトラップ）をはじめ、より広範囲に対応するため他の装置メーカー（吸着法、冷凍法等）と協力して提案

■装置導入費用
当社自社での設置やリース会社の紹介による初期導入費用の軽減を提案

■リサイクルシステムの構築
VOC回収溶剤の当社工場でのリサイクル（委託加工、再生品原料として買取可能）を提案

日本リファイン株式会社
URL http://www.n-refine.co.jp　E-mail info@n-refine.co.jp
東京本社 TEL. 03-3201-3333
大垣営業課 TEL. 0584-75-1212
工　場　輪之内／大垣／千葉
台湾堀場環境分析有限公司 TEL.+886-2-8770-7800
蘇州堀場化工有限公司 TEL.+86-512-6282-3582

有力企業の技術・製品（順不同）

アクア化学

アクア化学はこと数年、低コストで高性能という目標の成長と、環境面を十分に考慮した洗浄システムの構築を目指してきた。その結果、「洗剤の要らない水洗浄」や「水だけで洗浄できるプレス加工油」といった環境やさしい洗浄・加工技術を開発し、商品化に成功した。

今回の「展示会出展品」は、100度Cを超える熱水シャワーの使用を容易にした「超熱水洗浄システム」と、「洗浄水の完全リサイクルシステム」が見どころだ。同社は今後も研究開発を進め低炭素社会の実現に向けた提案を行う。

伸栄化学産業

伸栄化学産業は30年におよぶ水処理技術の実績を基に、イオン交換や濾過・膜処理の技術などを駆使、約5年前に進出した中国の現地法人（独資）を活用し、コストが安く品質の安定した水処理装置を開発している。

特に、洗浄に用いる純水・超純水の製造装置に得意とし、洗浄機メーカーへの水のリサイクルシステムなどの提案営業で業績を伸ばしている。

水処理装置の維持管理が重要であり、人材育成はもとより、イオン交換樹脂や濾材の再生、逆浸透（RO）膜の洗浄、再生などの事業の拡大計画も進めている。

ジャパン・フィールド

ジャパン・フィールドの「VONOVO（ボノボ）」は、金属・樹脂部品機器を安全に真空洗浄する装置。立型多段「槽式の構造」、減圧超音波浸漬洗浄から減圧蒸気洗浄、真空乾燥、仕上げまでを全自動で行う。効率的な洗浄によって溶剤使用量を3分の1～5分の1に抑えた。全行程を減圧下で行うため可燃性の炭化水素系溶剤を安全に使用できる。価格は1350万から1700万円。月額18万円程度でレンタルも行う。槽内を24時間自動清掃するオプションも装置もある。

森合精機

森合精機は自動車や油圧機器の部品加工など産業界のモノづくりに広く貢献する部品洗浄機の総合メーカー。「洗浄・測定評価のトータルプランナー」「お客様第一主義」を掲げ、常に新しい商品の開発に取り組むなど、国内外で活躍している。

今回の展示会では時代のニーズを先取りし、顧客の要望に応えるべく開発した洗浄機などを出品。「振動チャンバー洗浄機」や、洗浄評価測定ツールの「コンタミ・残留異物・測定機」「乾燥度測定装置」を紹介する。

ファインマシーンカタオカ

ファインマシーンカタオカは、新開発のブラセル洗浄機「クリーントルネードSPC-030-LC」を出展する。洗浄と水切りを1カ所で行い、ワークの移動を効率化し、従来の回転式洗浄機に比べて大幅にサイクルタイムを短縮した。

独自の密閉式壁形洗浄室を採用し、「トルネード効果」によって効果的に洗浄・水切りを行う。洗浄室内は常に清潔な状態を保つ。大きさも従来比30％減と省スペース化した上、密閉状態で作業するため、作業音も今までにない静寂性を実現した。

日本リファイン

日本リファインは溶剤の精製リサイクルを主たる事業としている。洗浄廃液も精製リサイクルの重要な資源の一つに位置付けている。

同社は廃溶剤の主要な精製技術である蒸留プロセスの高効率化と低コスト化を図っている。同時に環境保護の観点から揮発性有機化合物（VOC）の回収あるいは廃水中の微量成分の除去を目的とした装置を、開発した。今後も資源の延命と地球環境の開発を行っている。

今後も資源の延命と地球環境の開発を行っている。

全のため、溶剤の回収と精製リサイクルの技術向上を目指していく。

化研テック

化研テックは電子回路用フラックス洗浄システム（マイクロクリーナー）、メタルマスク用洗浄剤「BAシリーズ」、ハンダパレット用洗浄システム「パレットクリーナー」などの製造・販売で実績を上げ、支持を得ている。

今回の展示会はさらに揮発有機化合物（VOC）を大幅に低減した新開発洗浄剤やVOCを大幅に低減した機器を出品する。

また、電子業界より也長く実績を有する塗装工程用途型洗浄剤や、塗膜を傷つけず溶剤・塗膜を剥離・塗料かすを効率的に回収してプーラ洗浄化する装置かすをとんども展示する。

スギノマシン

スギノマシンは洗浄総合展で産業洗浄にかかわるサプライズ商品を展示する。地型・精製の3種超高圧プランジャーポンプ「Gシリーズ」は、優れた耐久性を維持しながら、新時代のニーズに応えるポンプで、3ピストラックへの搭載が可能。また、超高圧での各種配管洗浄機器や、ガン・ノズルなどの各種洗浄機器、安全護具、消防救助機器・水流駆動ディスクカッター（参考展示）を出品する。

10月15日には「超高圧機器の安全対策」をテーマに東2ホールのイークショップ特設会場で講演を行う。

武蔵テクノケミカル

武蔵テクノケミカルは「人と地球と生産コストにやさしい洗浄」をテーマにユーザーのさまざまな洗浄ニーズに対応している。主力の洗浄剤MKシリーズは、高溶解、高溶解、低臭気など、特徴ある豊富な洗浄剤ラインアップを持ち、電子部品や通信機器などのフラックス洗浄に使われている。油性・水溶性脂肪用に、ノルマルパラフィンの単一物質を中心とする洗浄剤MDシリーズがある。両シリーズを主に日本、中国で販売中。

同社は高い洗浄品質と経済性を両立させた洗浄システムを提案している。

武蔵テクノケミカル
スカイクリーン
MDシリーズ　MKシリーズ　MPシリーズ　MXシリーズ
■油性・水溶性脂肪　■フラックス洗浄
■光学レンズ洗浄　■特殊仕様
人と地球と生産コストにやさしい洗浄
● 優れた洗浄品質と必須性
● 臭気に優しく、消防法以外の法規制に非該当
● リリイクル洗浄可能で、低ランニングコスト
2010 洗浄総合展　小間番号　W-017
洗浄剤ラインアップ紹介
● 表面洗浄　● コ・ソルベント洗浄
● 溶剤回収方法　● インライン洗浄
ご提案いたします。
● 環境対応剤に関するご相談
● 臭気の最適化や問題解決のお手伝い
Musashi Techno サポート
● 日本、中国に生産・販売の拠点
● 東南アジアにも販売代理店網を整備
musashi techno
株式会社 武蔵テクノケミカル
Musashi Techno Chemical Co., Ltd.
〒113-0041 東京都東京都台東区元浅草4-7-4
TEL：03-3945-3051／FAX：03-3845-3944
URL：http://www.musashi-techno.com

日刊工業新聞 Business & Technology 2010年(平成22年)10月13日 水曜日 16

2010土壌・地下水環境展
エコビルド2010
産学官ビジネスフェア2010

きょう開幕

きょう13日(水)から15日(金)まで、東京ビッグサイトで「2010土壌・地下水環境展」が開かれる。今年4月に改正土壌汚染対策法が施行され、調査対象が拡大するとしてお目、適切なリスク管理が重要になっている。同展は土壌・地下水浄化に関する国内最大規模の専門展示会で、その必要性を広く発信するとともに関連の最新技術が披露される。主催は日刊工業新聞社と土壌環境センター。開場時間は10時から17時。最終日は16時30分。また、すまい・建築・都市の環境展「エコビルド2010」、「産学官ビジネスフェア2010」なども同時開催される。入場無料。

ニーズ高まる適切なリスク管理

土壌・地下水環境展

土壌・地下水環境展は5回目の開催。今回テーマは「汚染を無くし、きれいな大地を未来に」。70社・団体が1591件、受注高は13億45百万円となっている。

ただ土地所有者の自主的な調査による、法に基づかない土壌汚染の発見や、調査機関は第三者性の高い独立機関が実施することなども明確化された。

◇◇◇

こうした背景のもと開催される同展は、土壌汚染対策における最新技術が披露される。特にこれまで多く採用されてきた掘削除去に加えて、その場で浄化できるオンサイト型の除去方法など注目される。

このほか、鉄粉を地中に注入し、井戸に循環させ地下水中の汚染物質を吸収する「地下水循環浄化法」、微生物を活用した「バイオレメディエーション」、製造業向けの環境対策機器やシステムを提案する「エコファクトリーソリューションゾーン」なども展開される。

◇◇◇

このほか「産学官ビジネスフェア2010」に、東京都立大学や長岡技術科学大学、研究機関などがブースを設け、保有する独自開発技術のビジネス化を目指してPRする。さらに茨城マグネシウム工業会主催による「第3回国際マグネシウム工業会展」なども併せて開かれる。

揮発性有機化合物（VOC）や油分を浄化する方法では、従来と比べて低コストな工場改良が実現できる。これら現在、稼働中の工場やソリューションゾーンなどでも実施可能となる。

また、過去にその土地で使用・埋設などされた特定有害物質すべてが調査対象となった。搬出汚染土壌の適正処理を確保するための措置の導入による、井戸に微生物等の高い独自機関が実施する揮発性有機化合物（VOC）や油分を浄化する方法。樹脂タンクなどでも実施可能となる。

このほか、鉄粉を地中に注入し、井戸に循環させ地下水中の汚染物質を吸収する「地下水循環浄化法」、微生物を活用した「バイオレメディエーション」、製造業向けの環境対策機器やシステムを提案する「エコファクトリーソリューションゾーン」なども展開される。

このほか「産学官ビジネスフェア2010」に、東京都立大学や長岡技術科学大学、研究機関などがブースを設け、保有する独自開発技術のビジネス化を目指してPRする。さらに茨城マグネシウム工業会主催による「第3回国際マグネシウム工業会展」なども併せて開かれる。

環境に優しい建築・街づくりを紹介

エコビルド

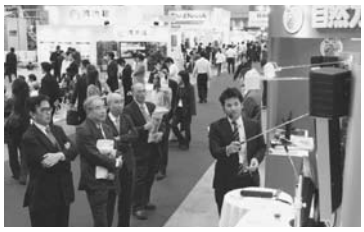
同時開催の「エコビルド2010」は、環境建築・エネルギー機構、日刊工業新聞社。

地球温暖化、天然資源の枯渇などを背景に、実践的な環境対応が必要とされる。特設ゾーンでは、ソーラーエネルギー利用推進フォーラムや東京ガスなどが「太陽熱利用ゾーン」で、エネルギー効率の高い太陽熱利用に関する製品・技術を紹介。緑化や建築などの環境保全や建築物の省エネルギー・対策や都市のヒートアイランド対策など、建築と都市・建築環境に関する技術、製品が多数、展示される。

来年に建築業界の世界大会（第24回世界建築会議）が日本で初めて開かれ、その併催イベントとしてエコビルド2011の開催も決定している。そのため、今年のエコビルドは、東京都が推進する「U-IA2011東京大会のプレイベント」として開催され、街づくり関係者の来場が期待されている。

◇◇◇

コビルドはU-IA2011東京大会のプレイベントとして開催され、街づくり関係者の来場が期待されている。



展示会を通じて活発な交流が期待される（前回の土壌・地下水環境展（会場より））

注目企業の製品・技術 ＜順不同＞

リフレックス

リフレックスは浦郷リサイクルセンター（神奈川県横須賀市）で、改正土壌汚染対策法により新設された「汚染土壌処理業許可」を取得した。同プラントは、ポリ塩化ビフェニール（PCB）をはじめ水銀など土壌汚染対策法指定の23物質を処理できるコークスベッド式溶融炉、ダイオキシン類に汚染された土壌や複合汚染にも対応可能で、処理能力は一日当たり120トンである。

投入した土壌は約160度Cの高温で溶融され、処理後の溶融スラグは資源として再利用できる。PCB汚染土壌処理業許可取得は、関東近郊で、同プラントを含めて2カ所しかない。問合わせが来ている。同プラントは03年に汚染土壌の受け入れを開始。05年にはPCB汚染土壌も受け入れ、今年3月末までに指定区域外の汚染土壌約2万トンを処理している。

浦郷リフレックス浦郷リサイクルセンター浄化等処理施設（溶融）

REFULEX

お問い合わせ：株式会社リフレックス　本社営業部
神奈川県横須賀市内川2丁目5番50号
TEL. 046-833-0700　http://www.refulex.co.jp

DOWAエコシステム

DOWAエコシステムは秋田県北部に国内最大級の総合環境コンビナートを持つ環境事業会社。これまでの実績をアピールし、最適なソリューションを提案する。

このほか、好評を得ている改正土壌汚染対策法セミナーを開催、改正後の動向や条例情報などを解説する。

連絡先は同社ジオテック事業部☎03・6847・1232へ。

DOWAエコシステムは、VOC（揮発性有機化合物）浄化の高い浄化効率と効果持続性の高い薬剤「バイオエンゼルPLUS」の完成などをPRする。

このほか、「汚染負荷の低減を目指した土壌汚染対策」セミナーを開催、改正後の動向や条例情報などを解説する。

産業廃棄物の世界大会、ジオテックビジネスフェアなどを目指してPRする。

◎注目のセミナー情報（聴講無料）

☆2010土壌・地下水環境展特別セミナー

●場所：「2010土壌・地下水環境展」展示会場内特設会場
●定員：200人／事前申込制

10月13日(水) 14：00～15：00
「改正土壌汚染対策法の施行について」
本年4月1日から改正土壌汚染対策法が施行されたところであります。今回の改正に伴った目標と土壌汚染の現状とリスクの認識を中心に改正の考え方や改正のポイントについて解説を行う。
環境省　水・大気環境局　土壌環境課長　柴田　泰介 氏

10月14日(木) 14：00～15：00
「川崎市の土壌汚染対策の取り組みについて」
川崎市は、工業の発展を考え誘致されたことを受け、1970年から市域に集中する機械による土壌汚染対策に取り組み始めた。この場、各地区を示し、現在は各地区を対象対策を行っている。改正土壌対策での条例対応含めの川崎市の取り組みを紹介する。
川崎市　環境局　環境対策部環境対策課　課長補佐　益田　宗利 氏

10月15日(金) 14：00～15：00
「土壌汚染を原因とする土地取引の訴訟」
土地の土壌汚染は見えません。また、土壌汚染調査によっても、汚染の範囲の特定を限定することは、容易ではない。このような土壌汚染を原因とする土地取引のトラブルは、社会的問題化の向けるとともに、取引成立を妨げるものとなった。なかでもお示に焦点を当てて、解説する。
東京都庁　都市整備局　ベーカー＆マッケンジー外国法事務所東京事務所　弁護士　大田　秀夫 氏

☆エコビルド2010

●場所：第3ホール内「エコビルド」ワークショップ会場
●定員：100人

10月13日(水) 14：00～17：00
エコハウスDAY「環境型エコハウス 実践と完成後の展開－全国20カ所のこころみ－」
日本建築家協会　環境行動ラボ　その他

10月14日(木) 12：45～17：00
低炭素DAY「低炭素社会　2050年へ向けて」
日本建築家協会　環境行動ラボ
■12：50～15：50
リレートークセッション
日本大学　生物資源科学部　教授　糸永　浩司 氏
東京大学　工学部　建築学科教授　大野　秀敏 氏
計画技術研究所　所長　須永　和久 氏
日本建築家協会　環境行動ラボ　代表／工学院大学　建築学科　教授　中村　勉 氏
■15：50～16：50
若手研究者＋中村勉トークセッション「これからの低炭素社会を語る」
（参加予定者）
日本大学　前野　奨吾 氏
東京工業大学　佐藤　理人 氏
東京大学　和田　良子 氏
中村勉総合計画事務所　中村　美和子 氏

10月15日(金) 13：30～16：30
「温暖化対策アクションプランの策定に向けて 既存ストック対策のあり方」
日本建築学会
東京大学　岩野　博 氏
工学院大学教授　中村　勉 氏
ロングライフビル推進協会　今泉　毅 氏
日建設計　林　立也 氏　ほか
※資料代：2000円

このほかにも多数のセミナーがあります。申し込みは各ホームページへ。

2010土壌・地下水環境展
www.nikkan.co.jp/eve/dojyou/
エコビルド2010
www.nikkan.co.jp/eve/ekobuild/
産学官ビジネスフェア2010
www.nikkan.co.jp/eve/sangakukan/

首都圏初・PCB汚染土壌処理施設として許可取得
PCB・ダイオキシン・重金属複合汚染土壌にも対応可
REFULEX
お問い合わせ：株式会社リフレックス　本社営業部
神奈川県横須賀市内川2丁目5番50号
TEL. 046-833-0700　http://www.refulex.co.jp

好評！日刊工業新聞社の本
今日からモノ知りシリーズ

トコトンやさしい
水処理の本
オルガノ㈱開発センター編
●A5判　●定価1470円（税込）

飲料水の不足している地域での海水処理や、工業排水からのレアメタル回収法体、宇宙空間での排水処理まで、様々な分野で活用されている水処理。本書では、製造業や環境保全に役立つ水処理の基礎技術を初心者にもわかりやすく解説する。

■主な内容
●日本と世界の水資源／●私たちの生活を支える水／●水をみがく技術／●排水をきれいにする技術／●汚泥を処理する技術／●21世紀の水資源と水処理技術

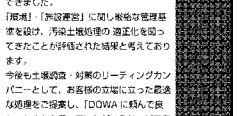
トコトンやさしい
洗浄の本
日本産業洗浄協議会洗浄技術委員会 編
●A5判　●定価1470円（税込）

産業洗浄技術は産業に関わる基礎的かつ総合的な技術だが、最近では、特にエレクトロークスや精密機械分野でキーテクノロジーとして注目されている。本書は、洗浄の「イロハ」から洗浄のしくみ、各分野での応用までを図解でやさしく解説する。

■主な内容
●産業洗浄とは／●産業洗浄剤の種力／●どのように洗浄するの？／●洗浄後の乾燥の世界／●洗浄力の評価／●知って得する洗浄の極意

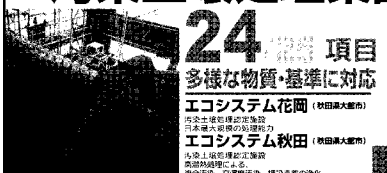
◆お求めは書店・弊社出版局ホームページまたはFAXでお申し込み下さい。◆
日刊工業新聞社 出版局販売・管理部　〒103-8548東京都中央区日本橋小網町14-1　TEL.03(5644)7410　http://pub.nikkan.co.jp/　FAX03(5644)7400

2010 April 4月1日 first & fast
改正法にいち早く対応



改正土壌汚染対策法の施行日に許可を取得できました。
「掘削」「新設工事」に関し厳格な管理基準を設け、汚染土壌処理の適正化を図ってきたことが評価された結果と考えております。
今後も土壌調査・対策のリーディングカンパニーとして、お客様の立場に立った最適な処理をご提案し、「DOWAに頼んで良かった！」と言っていただけるサービスを提供してまいります。

汚染土壌処理業許可取得
24 項目
多様な物質・基準に対応



エコシステム花岡（秋田県大館市）
汚染土壌処理認定施設
日本最大規模の処理能力
エコシステム秋田（秋田県大館市）
汚染土壌処理認定施設
高温熱処理による、
揮発性有機化合物（VOC）、
揮発性有機化合物（VOC）、
重金属類、
ダイオキシン類、
PCB、
油分
の浄化

お問い合せ・ご相談は
03-6847-1232
ジオテック事業部

DOWA
DOWAエコシステム株式会社
〒101-0021　東京都千代田区外神田4丁目14番1号　秋葉原UDXビル22F
DOWAエコシステム オフィシャルサイト http://www.dowa-eco.co.jp/
DOWAエコシステム ジオテック事業 アクニュミ情報サイト http://www.dowa-geo.jp/
土壌と環境に関する情報コミュニティサイト http://www.dowa-geoj.jp/

掲載記事　日刊工業新聞

2010 産学官ビジネスフェア 見てある記

産学官ビジネスフェア2010（日刊工業新聞社主催）が15日まで、東京・有明の東京ビッグサイトで開催されている。今回はこの中で、茨城マグネシウム工業会による国際マグネシウム展も開催。産学官連携でのマグネシウム成形加工法の成功例などを紹介している。

マグネシウムは機械加工時の熱で発火しやすく、茨城県工業技術センターと連携し、マグネシウム部材のボス成形法を開発した。回転ツールをマグネシウム板に押しつけ、発生する摩擦熱で柔らかくなった板からボスを成形をし、さらに同路拡部分を引き出す仕組みだ。日本溶接協会会長賞を受賞したばかりの最新技術だ。

プレス成形したマグネシウム板の四隅にボス成形を乗せ、ビスを締めて、コスト削減と工程時間短縮が実現するというメリットがある。

宮本製作所はマグネシウムを混ぜた水口状の水槽に薄膜で浄化バクテリアを活性化する機能に注目している。これにより、「グッピーストーン」を水槽に薄膜が付きにくくなる。

水素を発生し、熱帯魚の病気予防に役立つことと、マグネシウムを混ぜた水口状の水槽に薄膜で浄化バクテリアを活性化する機能に注目している。これにより、「グッピーストーン」を水槽に薄膜が付きにくくなる。

産学官ビジネスフェアでは、長岡技術科学大学から3センター・研究室が出展している。ヒューマノイドロボットは、ヒトの脳波をカオス・フラクタル解析し感性を定量計測する技術により、介護するヒトの感情に反応するインタラクティブ型を打ち出している。

災害救助ロボットは走行ベルトを持った、がれき に挟まれた被災者の捜索用だ。

がれきの圧迫から急に開放されると発生する、クラッシュ症候群の予防に向けた仕組みを提案している。

環境に優しいマグネシウム製品開発を積極提案

山野井精機はボス成形など説明

マグネシウムの動向に関心が集まるワークショップ会場

長岡技科大は画面でロボ紹介

10月15日付

土壌・地下水環境展（きょうまで）

見てある記㊦

開催。

「どんな物質の汚染にお困りですか。有害物質の土壌浄化を請け負う」

地下水の油分回収装置（写真）を提案。エンビロ社などを施したプラスチック製ベルトに、地下水の油分を吸着させて効率良く回収する。工場の工作機械の作動油などの汚染を浄化する。装置補給はなども存在感示す。オオノ（千葉市）も請け負う。ゼオライト（福岡市博多区）は濁りや塩分の多い地下水を浄化して、飲料水などに活用するサービスを売り込む。同社がビルや工場内に浄化プラントを設置し、顧客は水使用料を支払う。設備投資を抑えた地下水を浄化でき、事業用水の運用コストも2～5割下がる。

共立理化学研究所（東京都文京区）は土壌油分検出セットを9月に発売。土壌の油分測定に進出した。規制強化を背景に顧客層を広げる。水質測定の既存顧客に提案し反応を探っている。

規制対応・コスト減 照準

開催。

「どんな物質の汚染にお困りですか。有害物質の土壌浄化を請け負う」

ゼネコン各社のブースでは、深刻な顔で展示パネルに見入る来場者に説明員が「実にこう言葉をかけ受け、各ブースでは来場者から浄化法用や期間、土対法に対応した原位置浄化工法などを説って紹介している。規制対応に追われている。15日まで

ほか単発手法なども出展。規制対応なども問題、苦慮する企業担当者は、ひとまずゼネコンブースに飛び込むようだ。

エンジニアリング会社なども存在感示す。オオノは子会社の環境テクノ（東京都江東区）と介している。規制対応に苦慮する企業担当者は、ひとまずゼネコンブースに飛び込むようだ。

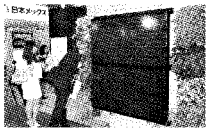
エンジニアリング会社なども存在感示す。オオノは子会社の環境テクノ（東京都江東区）と

10月15日付

エコビルド開幕

回59社・団体参加

工法・実機・サービス披露



建築環境・省エネルギー機構、日刊工業新聞社が主催する「エコビルド2010京」は13日、東京ビッグサイトで開幕した。「建築と都市の地球環境ソリューション」をテーマに59社・団体が参加し、住まいや建築、都市作りに関する技術やサービスを披露する。（1面参照）

菊川工業（東京都墨田区）は大掃雪池と一体化した外壁「サスステール」を出展。「来場者の注目を集める。二酸化炭素（CO2）排出量の削減と、環境保護を実践していることを外的にアピールできる」のが強みだ。独自の工法により、外壁に廃材に取り付けができる。

輸入した遠赤外線ラジウム暖房材「ヒートプラス」を展示。温度ムラがなく、施工しやすい利点をアピールしている。

ソーラーエネルギー利用促進フォーラム（東京都港区）は東京ガスなどが計測した太陽光発電の計測システムを紹介している。「一般の計測機器は計測自体に価値がある」と、省エネ関連の計測機器メーカーとともに、人間熱を利用したガス温水システムに最適なのが好評という。

工場やビルのエネルギー利用の状況をチェックする計測機器を見せるのが狙いだ。初期投資を抑えられるASPサービスで計測のシステムを納入した。

都港区）は東京ガスなどが共同で開発した「ソラモ」の実機を並べた。「低炭素社会の構築にあたり、自然エネルギーの利用拡大を積極的に進めたい。その自然エネルギーをバックアップするのに最適なのが太陽光発電」と説明。

西区）は床暖房の本場。特に関心をもたれている。韓国で20%のシェアを誇るセキモンチェリーから輸入した遠赤外線ラジウム暖房材「ヒートプラス」を展示。温度ムラがなく、施工しやすい利点をアピールしている。

ソーラーエネルギー利用促進フォーラム（東京都港区）は東京ガスなどが共同で開発した「ソラモ」の実機を並べた。「低炭素社会の構築にあたり、自然エネルギーの利用拡大を積極的に進めたい。その自然エネルギーをバックアップするのに最適なのが太陽光発電」と説明。

GROOVE（横浜市西区）は床暖房の本場。特に関心をもたれている。韓国で20%のシェアを誇るセキモンチェリーから輸入した遠赤外線ラジウム暖房材「ヒートプラス」を展示。温度ムラがなく、施工しやすい利点をアピールしている。

ソーラーエネルギー利用促進フォーラム（東京都港区）は東京ガスなどが共同で開発した「ソラモ」の実機を並べた。「低炭素社会の構築にあたり、自然エネルギーの利用拡大を積極的に進めたい。その自然エネルギーをバックアップするのに最適なのが太陽光発電」と説明。

10月14日付

川崎の土壌汚染条例と施策紹介

市環境局の盛田氏

川崎市環境局環境対策課担当係長補佐の盛田宗利氏（写真）は14日、東京・有明の東京ビッグサイトで開催している2010年、川崎市の条例と施策を説明した。会場には200人が詰めかけ、盛田氏の講演に聴き入った。

講演で盛田氏は「川崎市の『公害防止等生活環境の保全に関する条例』は国内で最も厳しい条例」とした上で「土壌汚染対策法の施行によって土壌汚染が顕在化される中、川崎市の条例と施策」と解説した。

「川崎市の土壌汚染の取組みについて」と題して、土壌・地下水環境展で講演した。改正土壌汚染対策法の施行によって上壌汚染が顕在化される中、川崎市の条例と施策」と解説した。

また今後は市の取り組みとして「調査方法の把握や新たな処理技術への理解を深め、絶えず最新の情報を収集して対応する」と話した。

10月15日付

2010洗浄総合展

PAN-EXHIBITION FOR WASH AND CLEAN 2010

見てある記㊤

安全・環境対応製品一堂に

洗浄機メーカーには顧客のニーズに的確に対応する製品、技術の開発が求められる。13日に東京・有明の東京ビッグサイトで開幕した「2010洗浄総合展」には洗浄機をはじめとした関連製品がずらりと並ぶ。環境対応や省スペース化などの要求が高まる中、会場は熱気で包まれていた。（1面参照）

洗浄作業時の安全に力を入れているのがスギノマシン（富山県魚津市）だ。ウオータージェット作業用の安全保護具（ジェットアーマー）は吐出圧力245メガパスカルの超高圧水から人体を守れるため、仕業者は安心して作業できる。手間せ過ミスによる誤作動を防ぐための安全機構を搭載した噴射装置も展示。「作業時の安全・安心」ニーズが強まっている（担当者）。

スギノマシンの安全保護具「ジェットアーマー」

日伸精機の強アルカリイオン水の生成装置「NEWS」

「洗浄のランニングコストと産業廃棄物を減らしたいといった声が多い」。クリンビー（長野県諏訪市）の担当者は「コスト削減と環境対応のニーズへの対応を強調する。独自の真空蒸気洗浄と真空乾燥を用いた洗浄機（クリンビー）は、真空チャンバー内で脱気した洗浄液を用いて洗浄する。超音波の効果を高めて洗浄力を向上させる。使用済み液を浄化する装置も搭載しており、「洗浄液のリサイクルによって費用負担も減らせる」（担当者）と強調している。

日伸精機（東京都墨田区）は洗浄に用いる強アルカリイオン水の生成装置（「NEWS」）を出展している。強アルカリ性によって高い洗浄力を発揮出展した。周波数38キロヘルツ、同100ワット。同1分で切り替えられるため、振動子の入れ替えが不要。省スペース化により「研究開発時の作業効率を軽減できる」（担当者）。幅広い用途に対応する製品として採用を提案する。またケルヒャージャパン（宮城県大和町）も省スペースを売りにした縦型洗浄機「HDS4ノ7U」を出展した。従来機に比べ設置スペースが半分、価格も従来機に比べ約10万円低価格化している。

木多電子が出展した卓上型減圧超音波洗浄機「WV-231」は減圧機能を搭載しており、従来では難しかった微細な穴など細かい部分まで洗浄できる。大型洗浄機には一般的に搭載しているが、卓上型に搭載したのは初めてという。

同日は日本不動産研究所（東京都港区）による特別講演「不動産市場の変化と評価」もおこなわれた。

10月14日付

土壌汚染対策法

柴垣環境省課長が改正点を解説

本社主催

日刊工業新聞社は13日、都内で開催中の「2010土壌・地下水環境展」会場内で、土壌汚染対策に関する特別セミナーを開いた。環境省水・大気環境局土壌環境課の柴垣泰介課長（写真）が改正土壌汚染対策法の要点を解説。100人を超える来場者が詰めかけた。

改正法は汚染の恐れがある3000平方メートル以上の土地の形質変更時に都道府県が調査を命じできる措置を追加。規制対象区域を要措置区域と形質変更時届出区域に分類し、区域外に搬出した土壌の適正処理を確保するための規制を導入した。

柴垣課長は「基本は原位置での管理・浄化」と強調。「制度を支えるのは技術であり、運用する人。対応をお願いしたい」と述べた。

同日は日本不動産研究所（東京都港区）による特別講演「不動産市場の変化と評価」もおこなわれた。

10月14日付

出展企業・団体紙上プレビュー（日刊工業新聞）

日本洗浄技能開発協会、日本産業洗浄協議会、日刊工業新聞社が主催する「2010洗浄総合展」が、10月13～15日に東京・有明の東京ビッグサイトで開かれる。テーマは「時代を洗う、地球を守る。揮発性有機化合物（VOC）などの環境対策が求められる中、今回は106社・団体（276小間）が最新の洗浄技術・設備を紹介する。「2010土壌・地下水環境展」「エコビルド2010」「産学官ビジネスフェア2010」なども同時開催される。

17、31面＝関連記事

2010洗浄総合展 ①

PAN-EXHIBITION FOR WASH AND CLEAN 2010

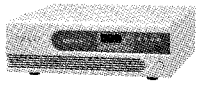
紙上プレビュー 東京ビッグサイト／10月13―15日

超音波発振器

超音波工業（東京都立川市、中村哲社長、042・527・1711）は新型の超音波発振器「CPSシリーズ＝写真」を出展する。用途に応じてファイン型とパルス型の両発振方式を切り換えて使える。パルス型は溶剤蒸気を取り除けるため洗浄効果が高い。

3種の周波数

カイジョー（東京都羽村市、及川哲夫社長、042・555・2244）は超音波洗浄機「クオーバ＝写真」などを展示する。新製品「クオーハルチ」は1台で3種類の周波数を発振し、さまざまな汚れに対応できる。



引火性を抑制

アクア化学（大阪府和泉市、山本健社長、0725・53・5510）は炭化水素系洗浄機「クリンダム＝写真」を出展する。80度Cの温度で洗浄し、溶剤の引火性を抑えつつ、強い洗浄力を実現する。また

安全に液管理

ソルベックス

ソルベックス（福井市、藤原忠生代表取締役、東京営業所＝03・5414・3200）は電子部品や金属部品の水切り乾燥システム「ソルビカー＝写真」を出展する。フッ素系溶剤「ソルブ53」を採用。イソプロピルアルコール（IPA）を用いた洗浄に比べて安全で設置場所が省ス

最適洗浄を提案

レイボルド

レイボルド（東京都中央区、岩田原治社長、03・3272・1866）は国内外の洗浄関連製品を用いた洗浄方法を提案する。ガラス部品や金属部品向けの洗浄剤の他か、超音波式、シャワースプレー式の洗浄装置を展示し、最適な組み合わせを紹介する。

2010洗浄総合展 ②

PAN-EXHIBITION FOR WASH AND CLEAN 2010

紙上プレビュー 東京ビッグサイト／10月13―15日

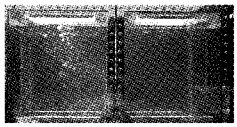
フッ素系の溶剤

三井・デュポンフロロケミカル

三井・デュポンフロロケミカル（東京都千代田区、今井和典社長、03・5281・5800）はフッ素系特殊溶剤「バートレル＝写真」を出展する。不燃・速乾性で、地球温暖化係数も低いため、環境に優しい精密洗浄を実現できる。

溶剤リサイクル

東京精留工業（東京都渋谷区、中村博保社長、03・3400・8290）は、使用済み溶剤をリサイクルする専門コンサルティングの仕組みを、ネル展＝3面＝で提案。提案性有機化合物（VOC）回収機（写真左）を出展する。高効率の振動子と自動洗浄回路採取型蒸留振器を組み合わせた。



カプセル洗浄機

ファインマシーンカタオカ

ファインマシーンカタオカ（愛知県安城市、片岡哲二社長、0566・92・0017）は新開発のカプセル洗浄機「SPC-30―CE＝写真」を出展する。吸引トルネードシステムを採用して乾燥時間を短縮したほか、古スペーパーなども実現した。

溶剤リサイクル

東京精留工業（東京都渋谷区、中村博保社長、03・3400・8290）は、使用済み溶剤をリサイクルする専門コンサルティングの仕組みを、ネル展＝3面＝で提案。提案性有機化合物（VOC）回収機（写真左）を出展する。高効率の振動子と自動洗浄回路採取型蒸留振器を組み合わせた。

ハイブリッド洗浄

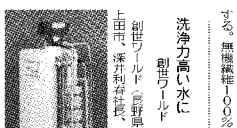
日本アレックス

日本アレックス（千葉県船橋市、相澤憲一社長、047・711・3720）は、ハイブリッド式の超音波洗浄システム「MEGA-POWER＝写真右」を出展する。高効率の振動子と自動洗浄回路採取型蒸留振器を組み合わせた。

塗装時の霧捕集

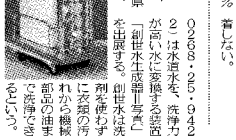
東京都立産業技術研究センター

東京都立産業技術研究センター（東京都北区、片岡正彦理事長、03・3909・2151）は、塗装時に飛散した霧（ミスト）を捕集する高機能フィルターなどを出展する。無機繊維100％で、焼却してもミストだけを除去し、繰り返して使える。



水系洗浄液活用

東製（千葉県船橋市、長光芳夫社長、047・470・7710）は独自の水系洗浄液を活用した超音波洗浄機を出展する。洗浄対象物を微振動し、高速で汚れを落とす。洗浄剤は油を水の中に溶解するため、洗浄も対象物に油が再付着しない。



洗浄力高い水に

創世ワールド（長野県上田市、深井利春社長、0268・25・9422）は水道水を、洗浄力が高い水に変換する装置「創世水生成器＝写真」を出展する。創世水は洗剤を使わずに衣類の汚れから機械部品の油まで洗浄できるという。

フッ素系の溶剤

三井・デュポンフロロケミカル（東京都千代田区、今井和典社長、03・5281・5800）はフッ素系特殊溶剤「バートレル＝写真」を出展する。不燃・速乾性で、地球温暖化係数も低いため、環境に優しい精密洗浄を実現できる。

溶剤リサイクル

東京精留工業（東京都渋谷区、中村博保社長、03・3400・8290）は、使用済み溶剤をリサイクルする専門コンサルティングの仕組みを、ネル展＝3面＝で提案。提案性有機化合物（VOC）回収機（写真）を出展する。高効率の振動子と自動洗浄回路採取型蒸留振器を組み合わせた。

ハイブリッド洗浄

日本アレックス

日本アレックス（千葉県船橋市、相澤憲一社長、047・711・3720）は、ハイブリッド式の超音波洗浄システム「MEGA-POWER＝写真右」を出展する。高効率の振動子と自動洗浄回路採取型蒸留振器を組み合わせた。

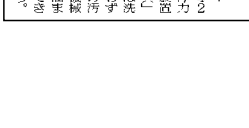
塗装時の霧捕集

東京都立産業技術研究センター

東京都立産業技術研究センター（東京都北区、片岡正彦理事長、03・3909・2151）は、塗装時に飛散した霧（ミスト）を捕集する高機能フィルターなどを出展する。無機繊維100％で、焼却してもミストだけを除去し、繰り返して使える。

水系洗浄液活用

東製（千葉県船橋市、長光芳夫社長、047・470・7710）は独自の水系洗浄液を活用した超音波洗浄機を出展する。洗浄対象物を微振動し、高速で汚れを落とす。洗浄剤は油を水の中に溶解するため、洗浄も対象物に油が再付着しない。



洗浄力高い水に

創世ワールド（長野県上田市、深井利春社長、0268・25・9422）は水道水を、洗浄力が高い水に変換する装置「創世水生成器＝写真」を出展する。創世水は洗剤を使わずに衣類の汚れから機械部品の油まで洗浄できるという。

強力にはく離

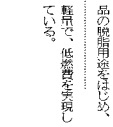
シンヤマシンナリー

シンヤマシンナリー（石川県金沢市、渡辺勝社長、076・233・8111）は洗浄・はく離システム「マルチ洗浄機＝写真」を出展する。エアに固体を混入したジェットを対象物に吹き付けることにより、強力な洗浄・はく離を実現している。

炭化水素系剤

JX日鉱日石

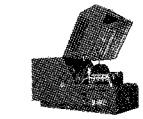
JX日鉱日石エネルギー（東京都千代田区、木村康社長、03・6275・5206）は金属部品の脱脂用途をはじめ、幅広くで、低燃費を実現している。



低燃費を実現

アマノ機工

アマノ機工（愛知県豊田市、天野博達社長、0565・53・1105）は配管洗浄機器や表面処理ロボットなどを展示する。特に米NLB製のウォータージェットポンプ（写真）は小型かつ



環境配慮を提案

旭硝子

旭硝子は溶剤の幅広い

環境、独自分析

BASFジャパン

BASFジャパン（東京都港区、成尾宏良社長、03・3796・5111）は第二工業製薬と共同でイオン型固形剤「ファインシリーズ」を紹介する。製品ライフサイクルにおける環境への影響を多角的に評価できる独自の分析法も説明する。

発見がテーマ

ケルヒャージャパン

ケルヒャージャパン（宮城県大和町、佐藤八郎社長、022・344・3140）は発見をテーマに、水や洗剤などを使わない「ドライアイスブラスター＝写真」などの洗浄機を出展する。ドライアイスブラスターは汚水処理が不要で、環境に優しい洗浄を実現できる。

河川流出も分解

三共商会

三共商会（長崎市、石川幹男社長、095・844・6800）は大然高分子の特殊洗浄剤「IS-2000＝写真」を出展する。汚れと効果の間に浸透し、汚れをはがすはく離補強タイプ。河川に流出した場合でも分解する環境型洗浄剤だ。

繰り返し使える

三和油化工業

三和油化工業（愛知県刈谷市、柳忠社長、0566・35・3000）の薄水系洗浄剤「サンクリーン XL＝1＝写真」は、洗浄液を加温かく拌、冷却回収することにより、繰り返しで使える。塩素系洗浄剤の代替品として提案する。

製品群で、素材を絞つけることなくそのまま水に溶けるプラスト洗浄剤を提案する。環境に配慮した洗浄を提案する。環境型ブラン素系溶剤「アサヒクリンAE－3000＝写真」はオゾン破壊係数がゼロで、不燃性などの特長を持つ。

土壌・地下水環境展

東京ビッグサイト／10月13―15日

第9回 ecobuild2010

紙上プレビュー　出展企業①

ガステック

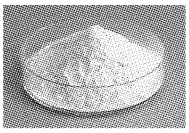
ガステック（神奈川県綾瀬市、小口博史社長）は地質・地下水汚染調査の関連製品を出展する。中心となるのは比素・水銀測定キット、君津式表層汚染簡易測定キット、発色カラム簡易化色法。地質試料中の比素・水銀の濃度を測定する比素・水銀測定キット（写真）は所要時間20分程度で測定できる。

注目されそうなのは開発中の発色カラム。ガラス管に発色操作に必要な試料を注入するだけで、発色して分析できる。一簡易測定の分野で、使いやすさをアピールしたい。（星野哲雄営業本部営業二部長）。

〈連絡先＝営業本部、0467・79・3911〉

エコサイクル

エコサイクル（富山市、シュリハリ・チャンドラガトギ社長）は揮発性有機化合物（VOC）や六価クロム用の浄化剤「EDC＝写真」シリーズ、ベンゼンやシアン化合物などの浄化剤「HDC」シリーズなどを展示する。



EDCはアミノ酸や炭水化物など食品に使われる材料で構成した、微生物の栄養源となる粉体。粉体を水に溶かし、土壌中の微生物を活性化させて3～12カ月で土の汚染を取り除く。浄化後は比化合物などの浄化剤「HDC」自体も分解される。HARは汚染物質ごとに内容物を変えて最適化した粉体。高濃度の酸素水に溶かして土壌に入れ、1～6カ月程度で浄化する。

〈連絡先＝環境修復事業部、076・420・3122〉

かわさき新産業創造センター

かわさき新産業創造センター（KBIC、川崎市幸区、村上啓一所長）は、同センターが運営するインキュベーション施設に入居する企業3社と出展する。出展の狙いは「入居する環境関連企業の育成」（機原豊喜インキュベーションマネージャー）。

デベロップメント・アジア・コンサルティング（川崎市幸区）は産業廃棄物の処理システムを提案する。欧州で培ったノウハウを提供し、顧客ニーズを吸い上げる。同社は電池リサイクルシステムもパネル展示する。

光学レンズメーカーのイフェクト（同）は発光ダイオード（LED）照明を展示。KBICの出展ブースにも使用する。このほかJR（同）は鉛フリーのハンダ技術をアピールする。

〈連絡先＝インキュベーションマネージャー、044・587・1591〉

土壌・地下水環境展

東京ビッグサイト／10月13−15日

第3回 ecobuild2010

紙上プレビュー　出展企業③

大林組

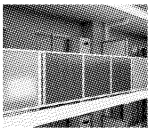
大林組は工場敷地や地下水に浸透した揮発性有機化合物（VOC）を、その場所（原位置）で浄化できるバイオ処理用材料「クロロクリン＝写真」を出展する。VOCを分解する微生物を土壌に増やし活化させる微生物栄養剤、浄化工事費全体を約30％低減できる。

主成分は食品添加物で安全性が高い。バイオ処理による原位置浄化は汚染場所を掘削して土壌改良する工法に比べ低コスト。また、工場真下など掘削できない場所も栄養剤を注入する井戸を確保すれば浄化できる特色を生かして受注を進める。

〈連絡先＝土木本部営業推進部営業企画課、03・5769・1141〉

ソーラーエネ利用促進フォーラム

ソーラーエネルギー利用促進フォーラム（東京都港区、中土英俊会長）は太陽熱利用ガス温水システム「ソラモ＝写真」を展示する。

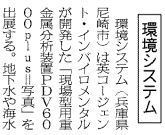


低炭素時代の実現に向けて、ソーラーエネルギーの重要性は増している。特に熱をそのまま熱として活用する太陽熱利用は、電気に転換する太陽光発電より効率が高く即効性がある技術だ。その代表例のソラモは集熱パネルで集めた太陽熱でお湯を温め、熱が足りない場合はガスが補うことで、太陽熱を優先利用しながら、いつでもお湯を使える。このソラモの実機展示を交えながら、太陽熱利用の普及活動について紹介する。

〈連絡先＝代表、03・3502・0115〉

日本地下水開発

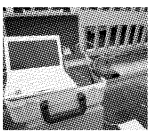
日本地下水開発（山形市、桂木宣均社長）は、汚染された土壌を低コストで浄化できる「フェントン法」を活用した汚染対策を提案する。同法は酸化剤となる過酸化水素と触媒を井戸から注入して、その化学反応によりVOCや油分を分解する浄化方法。同法による油汚染浄化対策現場（写真）では、土を掘り起こしては除去するような工事を必要としないため、稼働している工場や営業中のガソリンスタンドでの対応などが可能で、コスト面でも有利なことを訴求している。調査から浄化まで一貫したサービスの提供に力を入れている。



〈連絡先＝地盤環境部、023・688・6000〉

環境システム

環境システム（兵庫県尼崎市）は英コージェント・インパイロメンタルが開発した「現場型用重金属分析装置PDV6000 plus＝写真」を出展する。地下水や海水などの環境水や工場排水中の水銀、カドミウム、鉛、クロム、ヒ素など微量重金属を計測できる。海水に含まれる妨害物質の影響を受けず高感度。小型、軽量（約4㌔）で耐衝撃・防水型のペリカンケースで運べる現場対応型機器。「直ちに結果が出て作業が効率的」（鉄鋼関連企業）と評価も高い。水や土壌を扱う公販で2009年8月から約20台を販売した。定価は250万円。



〈連絡先＝営業部、06・6657・5130〉

緑化計画研究所

緑化計画研究所（東京都中央区、松本功社長）は、メンテナンスフリーの緑化材「常緑キリンソウ＝写真」を展示する。常緑キリンソウは大雨にも乾燥にも強く100日間水を与えなくても生育するという。雨水のみでも十分育つため散水する必要がない。

展示する袋方式は防草シートにより雑草は根をはやすことができず、草むしりが要らず土が流れ出す心配もない。植え付けはシートのファスナーを開いて苗を入れるだけと簡単。重さは1㎡当たり40㌔で一般建築物に設置できる。東京都立高校20校に採用された。

〈連絡先＝代表、042・306・7798〉

大起理化工業

大起理化工業（埼玉県鴻巣市、大島忠男社長）は、土壌中の全石油系炭化水素（TPH）の濃度を測定する「土壌中油分汚染濃度測定装置＝写真」の試作機を参考出品する。現場で採取した土壌のサンプルを前処理なしで測定できるため、作業時間の短縮につながる。サンプルの量は1㌘で可能。

同装置はサンプルの土壌を高温で熱する。土壌中の油分を気化し、燃焼させる。このため表発生しない。また揮発性有機化合物（VOC）で汚染された土壌・地下水の原位置浄化技術として金属触媒と酸化剤の反応で浄化する「触媒酸化法」、酸化剤を地下水に注入する「過硫酸法」も紹介する。

〈連絡先＝営業本部、03・3669・7225〉

土壌・地下水環境展

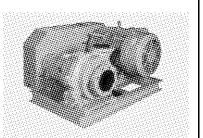
東京ビッグサイト／10月13−15日

第3回 ecobuild2010

紙上プレビュー　出展企業②

みつわポンプ製作所

みつわポンプ製作所（三重県東員町、小林幹生社長）は研磨剤などが混じった泥状の流動体を移送できるスラリーポンプの専業メーカー。展示を採用し、液漏れ防止を強化した。



〈連絡先＝代表、0594・76・1100〉

三友プラントサービス

三友プラントサービス（相模原市緑区、小松和史社長）は産業廃棄物の収集運搬から中間処理、再資源化、最終処分までのサービスを提供できる。ただ産廃処理は成熟産業になりつつある。「そこで力を注いでいるのが水・土壌事業と機器事業」（金原暁治副社長）。

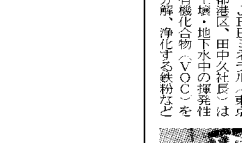
同社は4月に汚染土壌処理業認可書を取得。川崎市川崎区に一日当たり1000㎥の汚染土壌処理設備を確保した。今回の展示会は汚染土壌の調査分析から浄化処理までの総合力を示す。

また半導体製造装置を洗浄、再組み立てする技術もアピールする。

〈連絡先＝水・土壌事業部、042・773・1431〉

鴻池組

鴻池組は重質油汚染サイトに対する硫酸還元菌を用いた嫌気性バイオレメディエーション（微生物による環境修復、イメージ図）を出展する。ベンゼンや油の経済的な浄化を目標に炭酸ガス、京都大学と共同開発した。今後、同社が事業展開する。工場跡地、ガソリンスタンド、油槽所などの揮発性有機化合物（VOC）、油汚染の問題に対応する。



同技術は土壌に栄養塩を入れ、その土地にいる嫌気性微生物を活性化させ10−20年、土地を利用しつつ低コストで土壌浄化を進める。浄化が進む につれて駐車場、倉庫、事務所、住居など高度利用に用途変更する。

〈連絡先＝東京本店土木技術部（環境グループ）、03・5617・7793〉

土壌・地下水環境展

東京ビッグサイト／10月13−15日

第3回 ecobuild2010

紙上プレビュー　出展企業④

清水建設

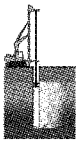
清水建設は2010年4月の土壌汚染対策法改正を受けて、汚染土壌を掘削して敷地外のプラントで浄化する従来のオフサイト型土壌処理から敷地内で処理するオンサイト型への移行を推進している。重金属汚染の浄化に適したオンサイト型土壌浄化プラントや、土壌中の分解菌を活性化させて揮発性有機化合物（VOC）を浄化する「バイオパブルクリーン工法」なども紹介する。

オンサイト型プラントは30㎥の小型から高機能化に取り組み、高コストになりがちな汚染土壌処理法にも対応する。

〈連絡先＝エンジニアリング事業本部土壌環境部、03・5441・0169〉

JFEミネラル

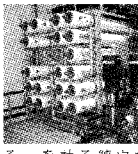
JFEミネラル（東京都港区、田中久社長）は土壌・地下水中の揮発性有機化合物（VOC）を分解、浄化する鉄粉などを成膜し、もともと鉄粉が持つVOC分解機能に触媒効果が加わり、高濃度のVOCを高速に分解できる。この鉄粉を地中で泡に結び吹き出し土壌を浄化する「鉄粉気泡工法＝模式図」、鉄粉を詰めた小型カートリッジを観測井戸などに沈めて地下水を浄化する原位置浄化方法を紹介する。「MLDバイオ工法」や「吸着工法」も展示し、最適な汚染対策を提案する。



〈連絡先＝環境プロジェクト部、03・4455・5261〉

ゼオライト

ゼオライト（福岡市博多区、河村勝美社長）は「ROろ過膜」を利用した水処理プラント＝写真＝を出展する。



〈連絡先＝エンジニアリング事業本部土壌環境部、03・5441・0169〉

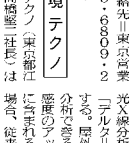
JFEミネラル

JFEミネラル（東京都港区、田中久社長）は土壌・地下水中の揮発性有機化合物（VOC）を分解、浄化する鉄粉などを成膜し、もともと鉄粉が持つVOC分解機能に触媒効果が加わり、高濃度のVOCを高速に分解できる。この鉄粉を地中で泡に結び吹き出し土壌を浄化する「鉄粉気泡工法＝模式図」、鉄粉を詰めた小型カートリッジを観測井戸などに沈めて地下水を浄化する原位置浄化方法を紹介する。「MLDバイオ工法」や「吸着工法」も展示し、最適な汚染対策を提案する。

〈連絡先＝環境プロジェクト部、03・4455・5261〉

ゼオライト

ゼオライト（福岡市博多区、河村勝美社長）は「ROろ過膜」を利用した水処理プラント＝写真＝を出展する。



排水再利用に加え、温泉水濁水処理、地下水散布化など幅広く手がける。車両や細菌、ウイルスを除去し、高純度の水を精製できる。また省スペース設計で幅広い業種に顧客を持つ。

水質が悪いと言われる福岡で、41年間水処理ノウハウと信頼も強い。メンテナンスを自社で行い、24時間365日対応できる「技術と人間力」（河村社長）で安心安全を顧客に提供する。

〈連絡先＝東京営業所、03・6809・2531〉

環境テクノ

環境テクノ（東京都江東区、高橋堅二社長）は日本電子は輸入販売する米オリンパスインペックス製のハンドヘルド蛍光X線分析計の新モデル「デルタ＝写真」を展示する。現場に持ち出して分析できる装置になり、感度のアップにより土壌に含まれる鉛を測定する場合、従来7㍉㌘だった検出限界値が2・4㍉㌘のレベルへと性能が向上した。価格は590万円から。

検出部を真空にするいった面倒な準備作業がなくなり、ボタンを押すだけで測定できる。

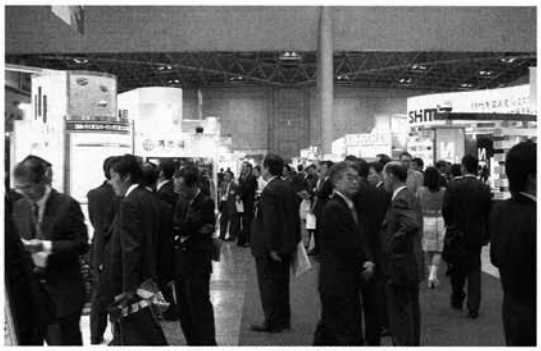
〈連絡先＝営業ソリューション統括本部計測機器グループ、042・528・3345〉

取材・報道記事　※一部掲載

2010土壌・地下水環境展開幕

今回で5回目の開催となる「2010土壌・地下水環境展」が13日に東京都江東区の東京ビッグサイトで開幕した。「汚染を無くし、きれいな大地を未来に」をテーマに、土壌・地下水汚染調査・コンサルティングや浄化・処理システム、浄化技術・装置、浄化剤、ソフト、測定・分析・検出機器、土壌調査関連機器、安全保護用品、リスクマネジメント・評価など最新の製品や技術、サービスなどが発表されている。出展者および出展内容の概要は表の通り。

土壌・地下水対策の最新技術が一堂に



土壌・地下水を巡る最新技術の紹介が注目される
（写真は2008土壌・地下水環境展）

出展者一覧

企業名	主な出展製品
アイ・エス・ソリューション	
アサヒテクノ	すっからかーん工法/SKK工法
ADEKA 総合設備	土壌・地下水の原位置浄化技術エコサイクル
エコサイクル 三菱商事	バイオ浄化に信頼と実績のEDC
エス・ティ・ジャパン	GUARDION-7
大林組	土壌汚染浄化技術
奥村組	土壌汚染の調査・対策技術
鹿島建設 ケミカルグラウト 鹿島道路 大興物産 イー・アール・エス	原位置浄化技術、自然由来対策
ガステック	検知管式気体測定器
加地貿易	
環境工研 松尾機器産業	ヒ素に有用な可搬型排水処理装置
環境システム	現場用微量重金属分析装置
環境新聞社	
環境テクノ オルガノ	ペトロエクストラクター
共立理化学研究所	パックテスト等の水質簡易分析器
清池組	清池組の環境修復技術
サンエープロテント	
産業技術総合研究所	
三友プラントサービス	汚染土壌処理業紹介
シーリングソイル協会	重金属汚染土壌のオンサイト措置
JFEミネラル	浄化材料と工法（鉄粉・バイオ）
地盤環境エンジニアリング	土壌地下水汚染の調査・浄化技術
清水建設	原位置・オンサイト浄化技術
新日鉄エンジニアリング 不動テトラ 日鉄環境エンジニアリング	

企業名	主な出展製品
住化分析センター エンバイロソリューション	土壌・地下水汚染調査と浄化技術
ゼオライト	
大起理化工業	土壌中TPH簡易分析計他
大成建設	大成建設の土壌浄化技術
竹中工務店 竹中土木	ジオクリーン・ワークス
テクノエックス	蛍光X線分析装置および前処理装置
DOWAエコシステム イー・アンド・イー・ソリューションズ エコシステムエンジニアリング	浄化技術、法改正対応、海外展開
土壌環境センター	
日本工業出版	
日本地下水開発	土壌・地下水汚染調査、浄化技術
日本電子	ハンドヘルド蛍光X線分析装置
日本電工	委託再生方式イオン交換塔
ハザマ	ハザマの環境修復サービス
パナソニック 環境エンジニアリング	汚染対策トータルソリューション
日立プラントテクノロジー	土壌・地下水浄化システム
マックテクニカルシステムズ	マックの油汚染浄化用微生物資材
三井金属資源開発	土壌・地下水汚染調査対策技術
三菱マテリアルテクノ 三菱マテリアル ピーエス三菱 東京鐵鋼工業 菱光産業 ダイヤコンサルタント	
みつわポンプ製作所	環境関連用みつわスラリーポンプ
ユニバース開発	油土壌・地下水汚染浄化
ライト工業	ECウォール工法
ランドコンシェルジュ	環境調査用機器および浄化用資機材
リフレックス	PCB汚染土壌溶融処理技術

［50音順］

環境新聞　2010年10月13日

産官学ビジネスフェア・韓国部品産業展

目立ったポスト・リチウムイオン電池

韓国メーカー、日本市場開拓に意欲

産官学ビジネスフェア、2010韓国部品産業展が東京ビッグサイトで開かれ、次世代電池研究や日本市場開拓へ意欲的な韓国自動車部品メーカーの姿が目立った。産官学ビジネスフェアは昨年に続き今回が2回目。ポスト・リチウムイオン電池の研究成果とナトリウムやマグネシウムなどを正極に採用した開発紹介のパネル展示が目立った。今回が10回目となる韓国部品展では、40社弱の自動車部品メーカーが出展し、日本企業との商談に臨んでいた。

産官学ビジネスフェアは、大学を始めとした研究機関の独自技術開発をビジネスにつなげていくことを狙いに開催したもの。グローバル競争がますます厳しくなるなか産官学連携による、一段と深く、広範囲な共同研究、製品化への取り組みが求められている。

展示で目立ったのは環境対応型の研究成果で、電気自動車（EV）用二次電池などの新蓄電デバイス研究実績が複数の研究機関から紹介されていた。東京理科大学は、ポスト・リチウムイオンの有力候補として「ナトリウムイオン電池」研究の取り組みをパネル展示した。

EVの普及でネックとされているのが、大半のメーカーが採用する高コストのリチウムイオン電池。リチウム資源が南米など一部地域に偏在しているためだ。これに対しナトリウムは世界中に無尽蔵にあり、非常に安価な資源。東京理科大の応用化学科は、正極にナトリウムやニッケル、マンガンなど、負極にハードカーボンを採用し、3ボルト級電池の作製に成功した。次世代型電池として民間企業との共同研究にも乗り出している。

埼玉県産業技術総合センターは、マグネシウム電池用の正極活物質の研究開発を紹介した。安全性、資源確保の点で問題を抱えているリチウムイオン電池に対し、マグネシウムは安全性が高いうえ、資源面でも過在性がない材質である。

東京都立産業技術研究センターは2011年5月に開設する予定の新本部（江東区青海）を通じて、新規産業の育成、支援などを積極化する活動を紹介した。新本部は現在の西が丘本部と調布支所を統合し、ものづくり産業の総合支援拠点として建設しているもの。新たな設備、機器も導入し、中小企業をはじめ産学公連携の場として生かしたいとしている。

韓国部品産業展では、ファスナー共同会、グリーン環境デバイス、機械部品・発酵、電機・電子部品、金型・関連デバイスと並んで、自動車部品が展示された。それら自動車部品が産業別にみた出展企業数で最も多く、日本市場開拓や日系メーカーとの取引に意欲を示していた。

展示品はピストン、ガスケット、継ぎ手などの金属製品からゴム関連部品、プラスチック成形品、さらにはドア用部品まで幅広く、日本への輸出実績のない企業の出展も少なくなかった。大半は、従業員数100人以下の規模の部品メーカーが多かったが、大星電気、サンポモトス、サムウォンプラックなど300人から1千人規模の部品メーカーも顔をそろえていた。目新しいものでは、デックがセラミックカーボンのブレーキディスクを展示していた。

日刊自動車新聞　2010年10月19日

カワタが洗浄機に

ドライアイス洗浄機を出展

「スプレー」も参考出品

プラスチック成形機周辺装置およびシステムメーカーのカワタ（福川直人社長）は今月十三日から十五日まで、東京・有明の東京ビッグサイトで開催した2010洗浄総合展に同社が開発したドライアイス洗浄機「ブリザードブラスター」（商品名）を展示・実演、また新開発の「ブリザードスプレー」も参考出品し多くの注目を集めた。

ドライアイス洗浄機・ブリザードブラスターは▽新規スクリュー機構でドライアイスを安定供給▽ペレットとパウダー切り替えのクラッシャー機構を標準装備▽超音波フル採用で少量のドライアイスで高い洗浄力▽回収機構で機内の残量を回収▽日本製であり同社全国十一拠点からのメンテナンスを受けられる万全なアフターサービスなど」の特長を持つ。

今回参考出品した「ブリザードスプレー」はペレットを購入しなくても液体二酸化炭素をボンベからの断熱膨張でドライアイスパウダーとして、冷却・マスキングが不要、残留物の処理が不要、環境にやさしいなどの特長がある。

窒素ガスで洗浄する。ドライアイス洗浄は、ドライアイス（マイナス七九度C）の粒や粒を高速で吹きつけて▽衝突力（衝撃）▽低温によるサーマルショック▽気化膨張（七五〇倍）の三つの作用で付着物や汚れを洗浄するもの。

このため超高速の圧縮空気で強力洗浄するため時間短縮、対象物にやさしい、水の発生や腐食および導電性がなく解体・冷却・マスキングが不要などの特長を持つ。

参考出品のブリザードスプレー

カワタの展示小間

フォースタイムス　2010年10月15日

HP活用の有効性解説

洗浄技術展 片倉東電顧問が講演

産業分野でのヒートポンプ活用について講演する片倉氏

産業用洗浄装置・システム「洗浄総合展」が15日まで東京・有明で開かれ、最終日には産業界でのヒートポンプ（HP）活用をテーマに東京電力顧問の片倉信樹氏による講演が行われた。メーカー、エネルギー関連業界など約120人が出席し、二酸化炭素（CO_2）排出、コストのすべての削減にヒートポンプが有効」とする片倉氏の講演に耳を傾けていた。

展示会には、片倉氏が会長を務める日本エクトロヒートセンターも出展している。産業分野の電化促進へ、講演と展示の両面から洗浄装置熱源にヒートポンプを組み込んだ有用性をアピールした。

講演のテーマは「産業界に拡がるヒートポンプの活用について」。片倉氏はまず、ヒートポンプの仕組みや燃焼システムとのコスト・エネルギー消費量比較などを示した上で導入事例を紹介。洗浄分野の熱利用は60～90度が中心であり、「ヒートポンプ利用に適した温度帯、熱源転換で一層の省エネ・CO_2削減を実現できる」と呼びかけた。「ボイラー更新時のヒートポンプへの転換、CO_2冷媒の管理にも触れ、先日、中国を訪問した際も徹底した管理の重要性を訴えた。一方できちんと管理すれば高効率化対策に有効」と訴える場面もあった。

ボイラー併用の『ハイブリッド型』も」と具体的な導入方法にも踏み込んだ。

電気新聞　2010年10月18日

鹿島

コストを5～20%削減

VOCの浄化で新工法

鹿島は4日、VOC（有機塩素化合物）に汚染された土壌や地下水を浄化する「バイオアレンディー工法」を開発したと発表した。汚染状況に応じて、VOCを分解する微生物の活性化を促す栄養剤を調合することにより、オーダーメード型の浄化を実現する。従来工法に比べて工事費は約5～20%削減可能。また独自開発のエマルジョン油を原料に用いることで地盤への浸透性を高め、浄化の確実性も向上させた。同社の施工技術との組み合わせにより、早期浄化や拡散防止など事業者ニーズへの柔軟な対応が可能だ。

VOCは様々な工場跡地で検出され、国内では土壌・地下水汚染の3分の1程度の割合を占める。これまでは井戸を掘って汚染物質を揚水する方法や掘削除去法が一般的だったが、近年は低コストでVOCを原位置浄化できる「嫌気バイオ法」が注目を集めている。

同工法は、嫌気状態（酸素のない状態）では汚染物質を栄養素に生物活動を行う微生物の特性を利用、栄養剤を与えて微生物の働きを活性化させることにより、浄化を促進する。ただ栄養剤注入工法の選択が難しく、高度な管理技術も求められていた。

新たに開発した「バイオアレンディー工法」では、エマルジョン油や乳製品などをベースに、様々な化合物をオーダーメードで調合することで、即効性や持続性など、汚染状況に応じた最適な栄養剤を作ることができる。独自開発したエマルジョン油はナノサイズの粒径（平均250～400ナノメートル）を実現し、地盤への高い浸透性を確保した。

これまで同社が培ってきた拡散防止や、早期浄化などの施工技術を組み合わせることにより、完全オーダーメード型の嫌気バイオ工法を実現する。

同技術は、13日から15日に東京・有明の東京ビッグサイトで開催される「2010土壌・地下水環境展」に出展される予定。

電気新聞　2010年10月5日

〝水・土・建築〟テーマに展示

日刊工業新聞社は、この日から「適用例など紹介。土壌・地下水環境展では、土壌汚染対策法改正に伴う自治体の取り組みとともに、現位置浄化での工法展示。すまい・建築・都市の環境展エコビルドでは、建物の省エネ対策や都市のヒートアイランド対策が多数紹介された。

日刊工業新聞が土壌・地下水環境展など開催

日刊工業新聞社は、この日から15日まで東京ビッグサイトで開かれる「2010土壌・地下水環境展」で、汚染土壌浄化プラントを紹介・展示した写真。

同展示は、PCB・ダイオキシン・高濃度重金属に汚染された土壌をコークスベッド式溶融炉で850度以上で燃焼し、温度が高い溶融物を冷却することでダイオキシン類の再合成を抑制できる。

リフレックス（神奈川県横須賀市、古敷谷裕二社長）は、13～15日に東京ビッグサイトで開かれた「2010土壌・地下水環境展」で、汚染土壌浄化プラントを紹介・展示した写真。

リフレックス

汚染土壌環境プラントを紹介

土壌・地下水環境展で

土壌は約1600度の高温で溶融、水で急激に冷却することで、ダイオキシン類の再合成を抑制できるという。

処理規模は1日当たり120トン、年間4万トン。対象処理物質は第一種特定有害物質（全11種類）、第二種特定有害物質（全9種）、第三特定有害物質（農薬等全3種）、その他ダイオキシン類。

問い合わせ先は電話046(833)0700。

建通新聞東京　2010年10月25日

JEHC

洗浄技術展に出展

電化促進へ実機でPR

東京・有明の東京ビッグサイトで、産業用洗浄装置・システムの展示会「洗浄総合展」がきょう15日までの3日間の日程で開かれ、日本エレクトロヒートセンター（JEHC、会長＝片倉信樹・東京電力顧問）が出展している。電力業界および関連団体の出展は初めてで、洗浄装置の熱源にヒートポンプを組み込んだシステムなどを積極的にアピールし、洗浄装置メーカーやユーザーを中心とした来場者の注目を集めている。洗浄装置メーカー各社へ効果的にアプローチすることで、同センターは産業分野における一層の電化促進につなげたい考えだ。

産業用分野では空調システムを中心に、加熱、乾燥といった製造プロセスで電化が進みつつある。一方、機器や製品の洗浄プロセスの電化は遅れ気味だが、薬剤や水の加熱にヒートポンプシステムを活用すれば大幅な省エネが見込めることもあって、今後の電化促進への期待は大きい。

同センターは「食品・医薬、半導体、機械部品といった業種からの関心が高い」として、まずは洗浄装置メーカーなどに効果的にPRすることで電化の流れをつくりたいと考えた。

展示ブースでは、洗浄分野に有効な電化システムとして前川製作所の水熱源産業用・業務用エコキュート（自然冷媒ヒートポンプ式給湯機）、富士電機システムズの過熱蒸気発生装置（THSS）、プレゼンツでこの分野の電化で先行する日部電力が登場。洗浄装置メーカーのファインマシーンカタオカから共同で実施してきたヒートポンプ式洗浄装置の試験状況、機械部品製造のアイシン・エィ・ダブリュ向け開発した洗浄工程用ヒートポンプの導入効果を解説した。

洗浄総合展は日本洗浄技能開発協会など3社が主催。洗浄装置・システムや洗浄剤などの分野から106社が出展し、3日間の会期中には4万人の来場を見込む。

電気新聞　2010年10月15日

洗浄総合展

多彩な機器が一堂に

溶剤リサイクルコーナー新設

洗浄に関する専門展示会「2010洗浄総合展」（日本洗浄技能開発協会、日本産業洗浄協議会、日刊工業新聞社共催）が13日から15日までの3日間、東京ビッグサイトで開かれた＝写真。

同展は、産業洗浄に関連するものとして商社洗浄剤、洗浄機器・装置、洗浄装置、洗浄剤、周辺機器、回収機器・装置、調査・測定、分析機器・装置などを一堂に展示。106社・団体が出展した。今回、VOC対策として経済産業省、環境省、東京都、製品評価技術基盤機構などによるVOC関連の塗装および対策法を一覧できるエリアを設置した。

また、新企画として洗浄後の廃液処理の技術として、ろ過装置や回収装置などを紹介する溶剤リサイクルコーナーも設けられた。同コーナーには日本溶剤リサイクル工業会をはじめ、次の各社が出展していた。

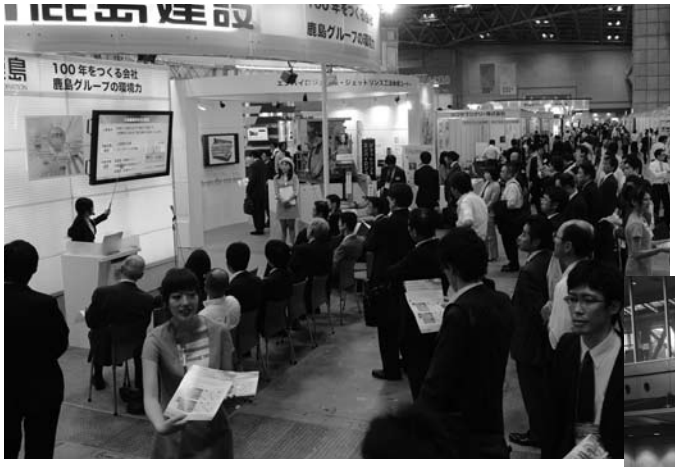
▽日本溶剤リサイクル工業会＝今回初めての出展となる同工業会では、溶剤リサイクルによるCO2削減効果など溶剤リサイクルの重要性と、溶剤リサイクルに関わる事業を行っている会員企業を紹介。同工業会設立10周年記念として平成18年に刊行した「溶剤リサイクルハンドブック」も展示・販売した。

▽旭製作所＝さまざまな溶媒に対応できる溶媒回収装置を展示。蒸留・精製することにより、使用済みの溶媒の再利用や、環境アセスメントに即した廃棄が可能に。

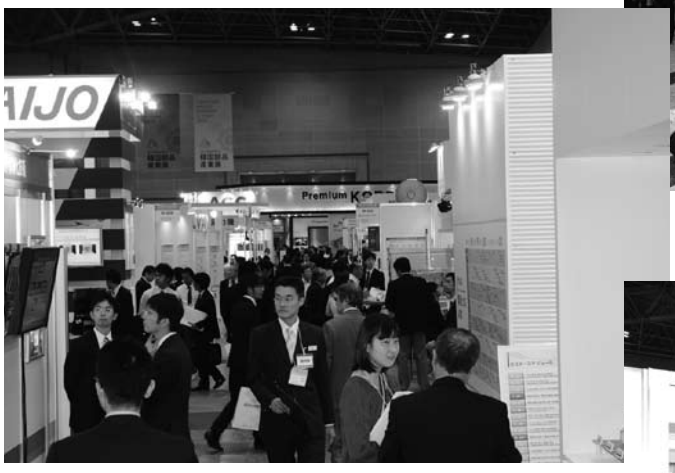
▽三和油化工業＝準水系洗浄剤「サンクリーンXL－1」を紹介。塩素系洗浄剤のデメリットに対応するために開発された溶剤性溶剤で、洗浄液を加温攪拌と冷却静置を

塗料報知新聞　2010年10月20日

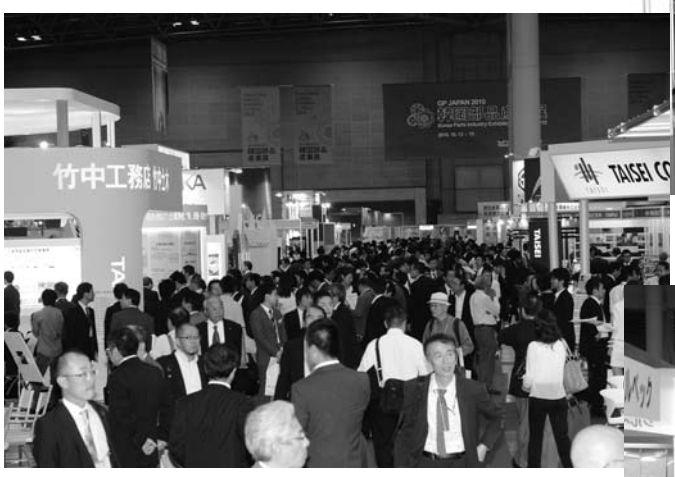
会場風景

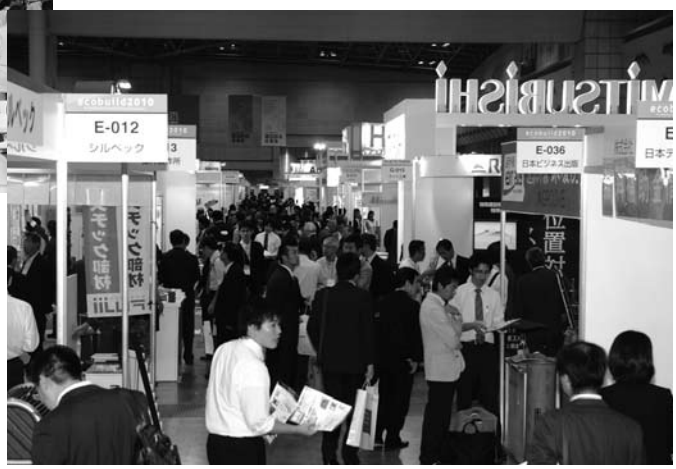

100年をつくる会社
鹿島グループの環境力

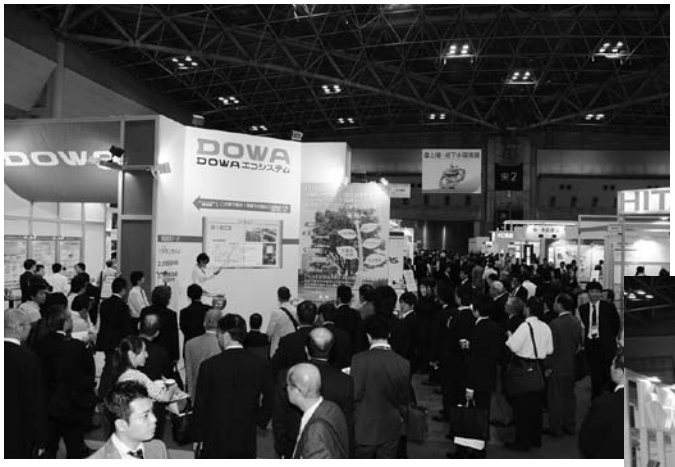
土壌・地下水環境展
ecobuild2010

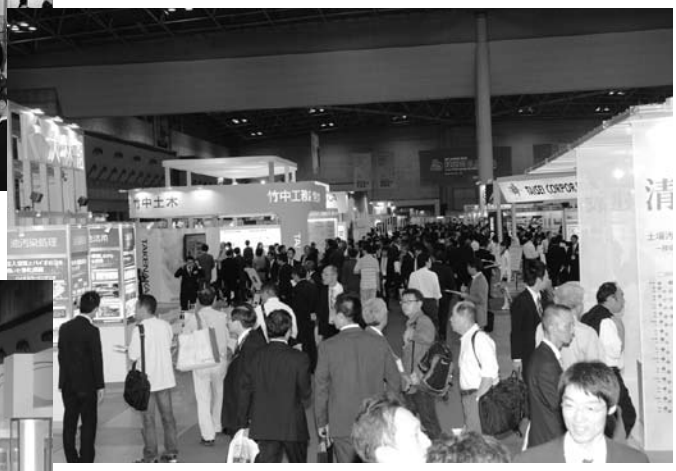


G-016
MITSUBISHI

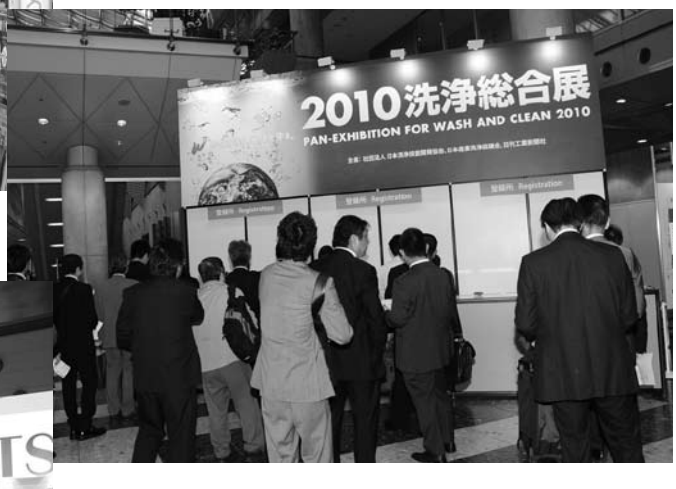

竹中工務店
TAISEI

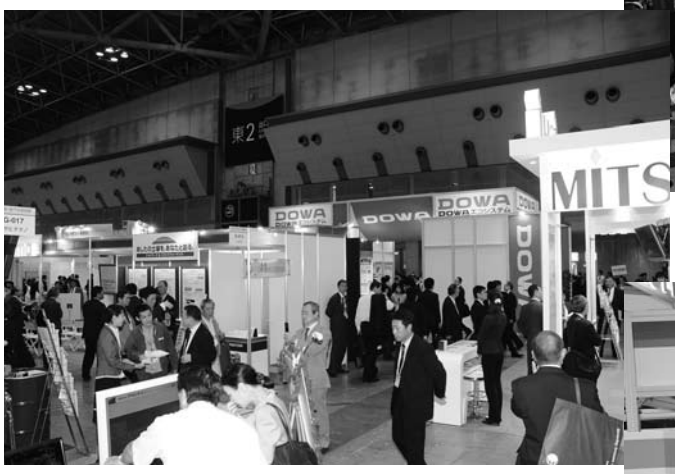

ecobuild2010
E-012
シルベック
E-036


DOWA
DOWAエコシステム


竹中土木
竹中工務店

W-038
三井・デュポン
プロケミカル
NIKON


2010洗浄総合展
PAN-EXHIBITION FOR WASH AND CLEAN 2010


DOWA
MITS

G-022

次回開催予定

■会　期：2012年10月（予定）
■会　場：東京ビッグサイト

「2012 洗浄総合展」
「2012 土壌・地下水環境展」

■会　期：2011年9月26日～28日
■会　場：東京国際フォーラム

「ecobuild 2011」

日刊工業新聞社 業務局 イベント事業部

〒103-8548　東京都中央区日本橋小網町14-1 住生日本橋小網町ビル
TEL:03-5644-7221　FAX:03-5641-8321
E-mail:j-event@media.nikkan.co.jp　URL:http://www.nikkan.co.jp/eve/